
Monster Carp Fishing in Japan

– Diary –

Archives “Monster Carp”

MCF Japan
www.mcfjapan.net

目 次

シルバーウィーク釣行 2015.9.18～20 mi○	1
連休は霞ヶ浦 2015.5.3～5 mi○	5
ばけものか！ 2014.7.19～20 平石	9
やっぱりこれだよ！ 2011.9.9～10 mi○	12
北浦のリバイアサン 2010.7.9～11 煮込みマッチョ	16
ゴールデンウィーク北浦釣行 2010.5.2～4 mi○	21
台風前の一泊二日釣行 2009.10.6～7 mi○	25
霞ヶ浦・鰐川・北浦釣行 2006.10.6～10 地鶏オヤジ	29
北浦のモンスター遭遇記 2006.9.21～24 mi○	33
GW 荒川釣行 2006.5.3 ぼらひで	40
利根川釣行 2005.9.17～19 中ソン	43
霞ヶ浦釣行 2005.8.27～28 平石	46
利根川釣行 2005.7.30～31 中ソン	48
水郷方面単独釣行 2005.6.18～19 平石	51
久々の釣行記 2005.5.26～27 地鶏オヤジ	53
利根川釣行前半戦 2005.4.29～5.1 中ソン	56

青魚 141	2004.9.25～26	中ソン	59
利根川釣行、平石さんと私	2004.7.17～19	中ソン	62
利根川釣行記録	2004.6.18～19	秋田	64
利根川の110	2004.5.15～16	秋田	67
釣行記録	2004.5.3～4	中ソン	71
利根川へ青魚狙いに	2003.11.21～23	中ソン	74
北浦レポート	2003.10.19～20	中ソン	79
霞ヶ浦釣行	2003.6.14～15	秋田	83
北浦釣行	2002.10.28～30	地鶏オヤジ	87
北浦釣行記	2002.10.8～11	地鶏オヤジ	90
北浦釣行記	2002.7.20～22	地鶏オヤジ	94
北浦釣行記	2002.7.6～7	山羊	97
GW 釣行記	2002.4.30～5.2	mi○	99

シルバーウィーク釣行 2015.9.18～20 mi○

目が覚めてからしばらく車の中でゴロゴロしていると、早朝の静けさを打ち破るセンサー音。「来た！」竿に駆け寄ると、ラインがふけて穂先に反応がない。急いでラインを巻き取る。右側にだいぶ走ったようだ。テンションがかかるまで巻き取ると、ちょっといい感じの手応え。「鯉？でもこの走り方はアオ？」手前に寄ると独特の頭を振る感触。「アオか・・・しかもあまり大きくない走り方」一気に浮かせてネットイン。敷いているマットのサイズと比べると、だいたい1mちょっとの小アオだった。記録写真を撮ってすぐにリリースする。

今日から5連休のシルバーウィーク。昨日霞ヶ浦に入釣し、夜中に一本鯉を上げることができた。そして今朝のアオが二回目の当たり。一週間前の豪雨の影響で、霞ヶ浦の護岸の上まで水位が上がっている。水に入り込んで取り込みになるため、いつもより足元に注意が必要だ。しかし水位が大きく変化した直後は好釣果に恵まれることがある。今回はそのパターンになるだろうか？

朝から太陽が照り、久々にすっきりとした天気になった。午前中に一本、昼に一本、共に小ぶりの鯉が上がった。昼の鯉は、ラーメンを煮ている最中に当たったため、急いで取り込んで速攻リリース。急いで戻ると、なんとか食べられるレベルでほっとする。ラーメンの火を咄嗟に弱くしていったのが良かったようだ。

地元のおじいさんがバイクでやって来た。十数年前に福島県からここに引っ越してきたというのだが、福島の川には3mの鯉がいると言いき張る。ホラもここまで度を越すと、ひたすら笑いが込み上げてくる。深入りは禁物と思い、ニコニコして聞き流した。

午後は当たりがなく昼寝をしてのんびり過ごし、日没前に全ての竿を上げて餌を打ち返した。夕食を済ませ外で心地よい風に当たっていると、車に近い竿にヒット！この竿は今回3度目の当たりになる。上げてみるとこれも小鯉。さらに1時間くらいして岸寄りに打ち込んだ竿にヒット！残念ながらこれも小鯉。どうやら今回は小鯉の群れが一带に溜まっているようだ。根気強く餌を打ち返す。間もなくまた当たりがあったが、これは空当たり。

車でうとうとしていると、またまたヒット！気ぜわしい夜である。当たったのはさっき空当たりの竿。センサーは入ったものの、しばらくようすを見ても何の反応もないため、ラインをセンサーに掛けて車に戻った。少しすると同じ竿のセンサーが入る。こんどは勢い良くクリックが鳴り響く。「よし、来た！」

重く底を這うようにラインを引き出す手応えは、間違いなくアオウオ。しかも今朝のよりは明らかに重い。何度もラインを引き出されながらも次第に浮かせる。頭が出た瞬間、自分のイメージよりも大きい。120~130くらいか？ 比較的早く勝負をかけてネットイン。水位がいつも通りだったらとてもじゃないがネットを引き上げられない重さ。幸

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

い今回は護岸の上まで水が上がっているため、四苦八苦しながらも引き上げてマットに乗せた。スケールを当てると140cmジャスト。大人しくなるのを見計らって写真を撮り、すばやくリリース。単独釣行だとアオウオが当たった時が大変である。これ以上の重さだと、とても一人では取り込めそうもない。



一時間後、また同じ竿にヒット。これは当たった直後に掛かりに入りかけたがすぐに「コン！」という感じにラインが外れた。最初に浮いた姿でアオウオと確認。直後に暴れた拍子にラインブレイク。残念！ブレイク端を見ると、擦れてザラザラになったところから切れていた。10号ラインでもこうなると仕方がない。

このままのペースだと寝てられないのでは？と心配したが、その後パツパツと当たりは途絶えた。今夜は星が綺麗に見える。煮込みマッチョさんに連絡を取ると、天体撮影のためにとある高原にいるとのこと。気温が10℃らしい。風邪をひかないようにと伝えて深い眠りにつく。

未明に目が覚め、東の空に日が昇るのを待って写真撮影。この場所は夕焼けよりも朝焼けが特に綺麗である。早朝の静寂の中でボートが先を急ぐように出て行く。シャッターの音が心地よく響く充実した時間。

その後2回当たりがあり、鯉を一本上げることができた。10時を回ったところで撤収。今回の釣行は鯉の数釣りとおウオの両方を楽しむことができた。秋の霞ヶ浦は好調な滑り出し。

連休は霞ヶ浦 2015.5.3～5 mi○

5月3日から2泊、霞ヶ浦で過ごすことにした。昨日はぼらひでさんが荒川で竿を出した。4月から厳しいコンディションだという。もじりがあるものの今回も復調の兆しがなかったとのこと。

中ソンさんと平石さんのコンビは昨日から2泊で利根川に入っている。後で知らされたことであるが、中ソンさんは3日の午前4時前に150cmの青魚を仕留めた。20～30分くらいの格闘だったようだ。送られてきた写真に添えられたコメントがなんとも羨ましい。「(去年平石さんの)162cmを見ての150cmなので小さいです。」私もそんなコメントを言ってみてっ！(笑)写真は翌朝撮影したものの、中ソンさんはとてもいい表情をしている。



さて自分に話しを戻そう。ここ数年、春は霞ヶ浦というパターンが続いている。昼前に現地到着。予想通り地元のウキ釣りの人や家族連れの人たちが入っていたが、私が竿を出したい場所はぼっかりと空いている。

セッティングが終了し、車に戻って時計を見ると午後1時前。今シーズンからはじめたMCF JapanのLINEでメンバーと連絡を取り合う。みんなそれぞれの連休を楽しんでいるようだ。そうこうしているうち何気なく車の外を見ると、護岸から2mの至近距離で青魚が背びれを見せる！ここは深さ1mも無いはず。青魚としては小型の部類だが、それにしてもこんな浅場まで来るとは。

夕方、カミさんから地震が多いから気をつけるようにとの連絡があった。どうやらこっちが震源地に近いらしいのだが、車の中にいたせいかまったく気がつかなかった。ラジオで確かめると大して強い地震ではなさそうなので、特に気にすることもなく釣りを続ける。

すっかり日が暮れて、車中で横になっているといつの間にかうとうとうとしていた。その時、突然センサーが入るとともに、外では盛大なクリック音。ラインがどんどん出ている。こんな時は小型の鯉の確率が高いため、慌てずにヘッドライトを装着して竿に駆け寄る。



竿を持つと軽〜い手応え。今シーズンの水郷初鯉はタモ枠サイズを大きく下回る小鯉だった。

この夜は当たりが続くことはなく、次のあたりは翌日の午前10時半。やっとタモ枠サイズの鯉だった。唯一の救いは、KHV発生前の鯉を彷彿とさせる体型。大きく育つことを祈りながらそっとリリースした。そして再び当たりが途絶える。暫くすると40〜50m沖で青が背びれを出す。それが結構いいサイズ。頼むから食って来てくれ！

今日は終日南寄りの風が強く、ピトンが曲がってしまうかと思うほど竿が横に煽られている。理由はわからないが、この場所では強風の時に当たったことはない。止んだ時に期待が持てるが、果たして予想通りになるのか。

夜になっても魚の気配は感じられない。真夜中に目を覚ますとぽつりぽつりと雨が落ちてきた。夕方LINEで秋田さんが「雨が強くなる」と注意してくれたが、幸いにもあまり降らずに朝を迎える。

午前中、釣行記を書こうとPCに向かったがどうにもはかどらない。諦めてバッグからカメラを取り出し散歩に出かけた。植えたばかりの稲の苗が、綺麗に列をなしている。時折うぐいすの声が聞こえる。水路には生まれたての無数のおたまじゃくし。日頃の喧騒と懸け離れた世界。

昼をまわって50時間の釣行を終了。撤収中、一人の若者が車を止めて降りてきた。別の場所でテントを張って鯉を狙っているとのこと。

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

ボイリーを使っているがナマズが多くて悩まされているらしい。残った食わせタニシを渡し、竿何本か試して見ることを勧めた。ユーロスタイルが私の息子と同じ世代の釣り人を掘り起こしてくれていることを嬉しく思った。

今回はこれで終了。

ばけものか！ 2014.7.19～20 平石

すでに1時間経過した。照りつける太陽、断続的に引き出されるライン、激しいのどの渇き。長年愛用してきた石鯛竿が、これほどまで深く弧を描いたことはない。石突きが下腹に食い込んで痛み出す。同行した中ソンさんがペットボトルを渡してくれた。動きが止まった隙に水を一口飲む。そろそろ決着をつけないと、こっちが参ってしまう。力づくで寄せようとするが、相手は悠々と沖に向かって走り出す。「このやろーっ！」

ドラグを目一杯締めた石鯛リール。こんなに楽々とラインを引き出す相手と出会ったことはない。タックルの限界、そして体力の限界。140台？ いや、150台はあるだろうか？

「ラインを手で押さえて寄せられないか？」中ソンさんのアドバイス。

「いや、寄せられない。負けてしまう。」

しゃがんで竿を立てて構え、しばらく体力を温存する。その間にも、ラインはどんどん出て行く。

一瞬、頭がこっちを向く感触があった。体力を振り絞って一気に勝負に出る。水面に初めて全身が浮かんだ。幾多の青魚を取り込んできた中ソンさんが絶句する大きさ。「よしっ、空気吸わせろ！」と叫び、タモを手取る。再び潜りかけた青魚を渾身の力で浮かせる。中ソンさんが構えるタモに引き寄せる。80cm枠のタモに頭が入ったが、胴の途中までしか納まらない。

「アミが小せーっ！」中ソンさん。

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

ここでひと暴れされたらひとたまりもない。経験したことがないプレッシャーの中、慎重に取り込む。タモに入った青魚を改めて見てみると、とんでもない大きさ。「ばけものか！」

二人で水から上げ、草むらに広げたシートまで移動。計測の結果は162cm。

青魚は体に比べて頭が比較的小さいのだが、この頭の大きさはなんとということだ！俺の拳が口に簡単に入る。どんなでかい食わせタニシでも、この口ならどうってことない。最後に持ち上げて記念写真を撮ろうとしたが、とてもそんな重さじゃない。背びれと尾びれをつまんで、スタンダードなポーズでカシャ！



Monster Carp Fishing in Japan - Diary

前日の夜から竿を出し、全く当りがないまま今日の昼まで経過して、午後1時頃の当りだった。青魚をリリースして、気がつくとも3時前。1時間以上の格闘の間、ずっと横でアドバイスと声援をくれながらビデオ撮影してくれた中ソンさんに感謝します。冷静になってみると、両腕、両足、そして全身の筋肉がパンパンになっていた。心地よい疲れの中で、今回の釣行を終了。

やっぱりこれだよ！ 2011.9.9～10 mi○

今週も金曜休み。夜に水郷に到着するのは控えたいため、お昼過ぎに水郷到着。先週に引き続き、北浦の被災状況を確認しながらポイント探しをする。鹿行大橋は崩落したままの状態、その隣に新大橋が



急ピッチで工事が進められている。元々随分完成が遅れていたという噂だが、今回の震災により計画を前倒して来年春に完成を目指していると言う話を地元の方から聞いた。完成が待ち遠しい。

今日は風が穏やかで波が少ないため、アオコが粉状に漂っている。コンディションは非常に悪い。偏光グラス越しに遠くを見ても一面アオコが見える。上流から中流にかけて、回復に当分時間がかかるだろう。南下するに連れてポツポツと鯉師の姿が見え始めるが、それでも有名ポイントはほとんどガラ空き状態。しかし、どこもピンと来るものがないまま、鱒川まで辿り着いた。ここも通行止め区間が多く場所選びはかなり限定されるが、北浦に比べたら水質は良い。

安全な場所に駐車して、竿のセッティング開始。30℃を軽く超える炎天下で、汗だくになりながらゆっくりと時間をかけて準備し、4時過ぎに完了。肌を露出している部分は、ことごとく陽射しでピリピリし出した。そういえば今年はほとんど日焼けしていなかったんだ・・・。

夕暮れ時に早い夕飯を済ませ、車内でラジオを聴いているといつの間にかうとうとしていた。突然センサーの音でとび起きる。時間は22時。当たり番号を確認すると、葦の突端に打ち込んだ竿。駆け寄ると、リールのクリック音がイマイチ弱い。竿を持って手応えはあまりないが、とにかく確実に取り込むことに集中した。一本おいて隣の竿にラインが絡んでいて少し手間取ったが、無事にネットイン。タモ枠と比較して70cmクラスの鯉だった。今シーズン最初の釣果のため、ネットに入れたまま写真を撮ってすぐにリリース。

車の窓に防虫ネットを付けているが、外はほぼ無風状態で風が入ってこない。団扇でパタパタ扇いで蒸し暑さをしのいでいた。ラジオのニュースで、10年前の「9.11テロ」について報じている。そういえば、貿易センタービルに航空機が激突するシーンをテレビでみながら、翌日からのオフ会の準備をしていたんだ。「釣りしていいのかなあ」とか思いながら……。あの時のオフ会も蒸し暑い夜だったなあ。あ、オフ会の翌日からタバコをやめたんだっけ？もう10年になるか……。とりとめもなく10年前に思いを巡らせてながら夜を過ごした。

次の当たりがないまま夜が明け、7時に餌を打ち替えた。いつものように、髭を剃った後コーヒーを入れる。地元の方が何人か散歩で通りがかり、「お早うございます。」「釣れました？」と声をかけてくださった。こうした水郷のあったかい雰囲気はまたいい。

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

車の日陰に隠れるように座っていると、携帯メールの着信音とほぼ同時にセンサーの音。リールのクリックがイイ感じで鳴っている。竿を手にしてグイッと引き寄せ、フッキングのチェックとともに十分な手応えであることを確認した。1本杭のすぐそばに打ち込んでいたため、これに巻かれないように静かに寄せて手前で浮かせた。頭が見えた瞬間、まずまずのサイズであることを確認。無理にタモを入れずに、完全に浮いて横たわるまで時間をかけた。その間、何度か水中に突っ込んで行くファイトを繰り返す。ああ、いつ以来だろう、この感触！完全に横たわったのを見て、頭からネットイン。水から上げると思ったより大きかったため、すぐに三脚とカメラをセットして記念撮影。にっこりして写りたかったが、久々に腕に感じる重量感のため微妙な顔でパチリ。鯉釣りはやっぱりこれだよ！この重量感だよ！



傷一つない綺麗な魚体を痛めないように、マットに載せたままリリースした。すーっと水中に消えていく姿を確認したあとも、しばらく水中を眺めていた。震災を乗り越えて、例年通りいい型をみられるようになったという安堵感や、久々の鰐川の釣果への満足感などが入り混じっていた。携帯メールを確認すると、8時51分に地鶏オヤジさんから着信。「昨晚は当たりありましたか？」すかさず、「地鶏さんのメールと同時に当たりました。」と返信。地鶏さんは仕事先からの連絡だった。

10時に撤収開始。気温がどんどん上昇し、頭に巻いているタオルは汗でびしょ濡れになる。エアコンを効かせた車に乗り込んで、やっと生き返った心地がした。この時外気温は32℃。水分を補給して車を走らせた。

北浦のリバイアサン 2010.7.9～11 煮込みマッチョ

7月11日(日)北浦。金曜の夜から木の柵で囲まれた葦原の左脇で竿を出していた。2本の仕掛けは杭の間を縫うように斜めに投げて柵寄りに入れ、他の4本は正面の一本杭とカケアガリを意識して入れた。前日の朝と夕方にメータージャストサイズと124cmのアオウオ。アタリがあったのは最も柵に近い所に入れた6番竿のみだった。鯉のアタリは一度も無く、5本の竿はずっと沈黙していた。底を探った感じはどこもゴツゴツした手応えで、硬さがあつて起伏もあるように思えたので自分の好みのポイントだ。このボトムに加えて右側の柵という大きなストラクチャー。

アオのような大きな魚だとやはりこの右側に付くのだろうか、というのが2本のアオを釣ったひとつの結論。ただ正面の杭の付近では鯉がもじっているのでこの鯉たちがいつ来てくれるのか?という期待もあった。しかも前日まではほぼ正面から強い風が吹き付け、魚の活性は高いはずだった。ところが前日夜から風がすっかり止んでしまい夜が明けるとアオコが湖面に広がり入浴剤を入れた風呂のような色。こうなると沈黙している5本の竿はエサ交換さえ億劫になるほどモチベーションは低下する。

愛犬のはなと車の中で暑さを避けながら過ごしたりして、やがて昼近くなった。かみさんからの帰れコールもありそろそろ撤収の準備をしようと車の外に出て身の回りの片づけを始めたが、6番の竿だけは常に見続けていた。朝エサ交換をしてから時々穂先がグイっと入る

ことがあったからだ。ボラの群れが道糸に擦れていることも考えられるが、近くに入れている5番の竿は微動だにしないので「何か違う」気配を感じていた。

また6番の穂先が吸い込まれるように入って行った。今度は今までより大きくそのままずっと止まることを忘れたかのように引き込まれ、遂にセンサーが入った。昨日の2本はここで一旦動きが止まってしばらくじっとして2～3分してからノッシノッシと動き出した。しかし今回は明らかに違った。そのまま道糸が物凄い勢いで引き出され、とりあえず玉網を土手下のテラスにセットして取り込みの準備をしている間もギーーーーーッというクリック音が途切れることなく辺りに響き渡った。アオウオであることは間違いなさそうだ。

土手上に戻って竿を持つと柵の10mほど先に入っていた道糸が遥か沖に伸びている。竿を立てて相手の動きを止めようとするが相手はますますムキになったように突っ走る。しかも物凄い重量感。全然止まってくれない。気を取り直して相手が疲れるのを待つことにしてテラスに下りた。何回か竿をあおってみるがやはり止まる気配がなく道糸がガンガン引き出される。ふとリールのカウンターを見ると100mを超えていた。16号の道糸を目いっぱい巻いてあったスプールは3分の1以下に細くなっていた。途端に心細くなった。「このまま走り続けられたら全部糸を出されて最後は切られちゃうかも?!」ととにかく走りを止めてこちらに向かせないと・・・

昨年の秋にMC Fのオフ会でメーター前後のアオに針を折られた苦い経験が頭をかすめる。しかしここで奴の動きを止めないとどうにもならなくなる。すると小型のクルーザーが走って来た。クルーザーの軌跡とアオが走っていく軌跡が交わりそうだった。「やばい、糸を引っかけられたらおしまいだ」そう思っているとクルーザーの後からジェットスキーまでやってきた。「うわーっ、頼むからこっち来ないで」思わず呟いてしまった。ところがアオもクルーザーとジェットのエンジンの音に驚いたのか急に動きが鈍った。チャンスだ！！ポンピングしながら巻き始めた。

いつの間にか真っ黒に日焼けした二人組の男の人が土手上から見物していた。対岸付近で鯉を狙っていたが他の釣り人の状況を観察しに来たとのこと。この二人も「こりゃあアオだべ」と口々に言っていた。私がいまにも手こずっているため、とうとう二人ともテラスに下りてきてしまった。

ただ糸を巻くだけではない、今まで感じたことのない重さが掛かった状態で100m以上巻かなければならないのだ。考えただけでヘトヘトになる。腕が痺れるほどリールを巻いてもまだあと50m、ちょっと走られて70m・・・これはキツイ。こんなことを何回か繰り返しながらどうにか残り20mほど、今度は手前の2本の杭に引っ掛かりそうになり何とかかわす。ここでようやく奴が水面に浮きあがった。怪物と呼ぶに相応しい巨大で真っ黒な尾ひれ。水面に現れたその姿には恐ろしささえ感じてしまうほどの圧倒的な存在感。大袈裟かもしれ

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

ないが、まるで聖書のリバイアサン。

すると奴は右の柵の方へ横走りし始めた。今朝がた地元の漁師の人がウナギの仕掛けを上げに来ていたところ。テラスにいたのではいくら竿を立てても道糸が柵に擦られてしまうので、できる限り柵の内側のアシ原に近い所へ歩いて行く。だが柵があるので手前の水面は見えずアオの動きも見えない。足元はジャカゴが積まれているので不安定で危険だ。すると見物の二人が柵に乗ってアオの動きを見てくれ、しまいには玉網に入れてくれた。助かった！！



柵の向こう側から3人でリレーするようにアオが入った玉網をテラスまで運んだ。こんな経験初めてだ。それにしてもデカイ。たぶん自己新記録だ。ブルーシートを広げてその上にアオを横たえる。サポー

トしてくれた二人がメジャーを当てると150cmちょうど。やっと150cmの大台を釣ることができた。記念撮影もしてリリースした後もしばらく3人で話をしたが興奮して自己紹介もしなければお二人の名前を聞くのも忘れてしまった。この場を借りて改めてお礼を言わせていただきます。ありがとうございました。お二人が来てくれなかったらあの柵に泣かされていたことでしょう。

5月の連休以来だった北浦でこんなに素晴らしい経験ができたことに感謝したい。北浦周辺の田園風景も大好きだ。いつまでもこのままでいてほしい。

ゴールデンウィーク北浦釣行 2010.5.2～4 mi○

今年の4月は異常な冷え込みが続いたが、このゴールデンウィークは一気にブレイクするかのように気温が上昇し、水温は15℃を超えて来た。私は5月1日から5連休。既に水郷で竿を出している煮込みマッコさんとトム石井さんからの釣果情報を携帯で知りつつ、連休初日は家族と過ごすことにして2日からの釣行とした。

2日の午後、霞ヶ浦を經由して北浦に向かった。煮込みマッコさんを訪問すると、カープ犬「はな」が元気に出迎えてくれた。餌の打ち替えが終わったマッコさんが、すでにリリースした93cmの鯉の写真を見せてくれた。かつての北浦の鯉を彷彿とさせる素晴らしい体型である。



しばらく話込んでいると、突然竿が絞り込まれた。竿を手にしたマッチョさんを本気にさせる力強い突っ込み！葦の切れ目の狭い空間でタモを構えてマッチョさんをアシスト。力尽きた鯉は84cmの良型だった。最高のファイトに満足し、笑顔の中に鯉を抱えて写真撮影。

時計を見ると、午後4時になろうとしている。そろそろ自分もポイントを選ばなければいけないので、マッチョさんの場所を後にした。湖岸を走ると、どこまで行っても有名ポイントには竿が並んでいる。この時期に、これほどまで多くの釣り人が北浦に入っているのは記憶にない。人気の鰐川、外浪逆浦から溢れた釣り人が北浦に流れて来たのだろうか。霞ヶ浦の人気ポイントも竿がぎっしり並んでいたし、もしかして鯉釣り人口が増えたのだろうか？

4時半頃になって、水通しの良いポイントが空いているのを見つけた。一瞬、霞ヶ浦に行こうかと迷ったが、日が沈む前に竿を出し終わりたいので、このポイントに賭けてみることにした。丹念に底探りをして湖底の状況を確認し、すべての竿をセッティングし終わったのが日没後の6時半。いつも通りPVAバッグにタニシを詰めた遠投タニシ仕掛けと、今回新たにテストするタイガーナッツの喰わせに小さめのダンゴ餌の組合せ。タイガーナッツは砂糖水でボイルしたものをヘアリグに3、4個つけた。

この夜は一度もセンサーがなることなく時間が経過した。普段、家にいるときは考えられないほど十分な睡眠時間をとることができた。日常のあらゆる雑事から解放された安堵感なのだろうか。

翌日の3日、最高の天気なのだが肝心のあたりは全くなし。救いだっしたのは、100mほど上流の釣り人に来た90台後半の鯉だった。検寸をお手伝いさせていただいたが、自分のポイントで当たりが出るだろうかという不安感を払拭する一本だった。

「最終日までここでやってみよう。」

その夜、70cm台をゲットし、とりあえずドライネットは逃れた。



4日朝7時過ぎに、ドラッグがずっと鳴りっ放しのあたりがあり、嬉しい90cmをゲット。細身の鯉だったが、やりとりを十分楽しむことができた。前夜近くに入釣した方に写真撮影をお願いした。

その後、60cm台、80cm台がトントンと釣れてなかなかいい感じである。さらに「良型がもう一本出たら嬉しいなあ」などと欲が出始めたころ、勢いよくラインが出るあたり！竿を持った感触では80cm台以上は間違いなし。しかし時折激しく頭を振る感触が手元に伝わって来る。「もしかして・・・アオ？」。背びれが一瞬見えた。やはり小型のアオウオ。しかし小型としては珍しく鯉並に引きを楽しませてくれたので感謝である。せっかく来てくれたのでスケールを当てて写真を一枚。最後にオマケ的な95cmのアオウオであった。

今シーズンの水郷初釣行がゴールデンウィークまで伸びてしまった

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

が、天気、釣果ともに大満足。上々の滑り出しである。釣果はすべて遠投タニシ仕掛け。タイガーナッツは結果を出せずテストにならなかったが、次回もテストを続けてみようと考えている。

台風前の一泊二日釣行 2009.10.6~7 mi○

今週はフリーバカンス制度を使って一週間の休暇を取得した。連休の序盤に用事を済ませ、6日から9日までの釣行計画を立てていたが、なんと910hPaの猛烈な台風18号が近付いているではないか。しかも本州上陸は8日の予想。なんというタイミング・・・。普通なら台風の後に行く方が釣果を期待できるが、それでは6日からポッカリスケジュールが空いてしまう。せっかくの休暇がもったいないから、台風がどうなるかわからないがとにかく北浦に向かうことにした。天気はずっと雨の予報。車の中でそのまま食べることができる食糧ばかり買い込んで、6日の午後出発した。

目指した場所は杭が多い所で、昨シーズン一度竿を出したポイントである。小雨が降りしきり、午後4時を回っていた。手際よく底探りをしないと、あっという間に夕暮れになってしまう。なんだか去年から少し杭の状態が変わっている感じがした。比較的竿を出しやすそうな場所で底を探ったが、泥底のため断念。周辺の底も探ったが何かピンと来るものがなく、竿を縮めて車に積み込み、他の場所に移動した。すでに辺りはだいぶ暗くなっている。10分程度走ると、とある水門が空いていた。「よし、ここにしよう！」

雨はなおも降り続けている。きっと撤収の時も雨だろうから、ピトンを使うのは止めにして、手間がかからないフォーク型竿掛けを使うことにした。いつものようにPVAバッグにタニシを詰めて順次打ち込み、6時過ぎにセッティングを終了した。

その晩は、10時頃を皮切りに2時間おきに当たりが4回あり、内2本を上げることができたが、サイズは60センチ台と不満な結果であった。しかし、当たりが出続けるということは、朝に期待ができると自分に言い聞かせ、小雨の中で餌を打ち返した。なかなか寝付かれないでいたため、ずっとラジオを聴いて過ごしたが、夜明け前にやっと眠りにつくことができた。こんな眠れない夜はめずらしい。2時間おきの当りは結構きついなあ。

朝7時過ぎ、愛妻からメールが届いた。台風が凄いらしいから帰った方がいいとの内容であったが、こっちは寝ぼけているから簡単な返事を返してまたすやすや・・・。

次の電子音は携帯ではなくセンサーだった(笑)。7時40分。雨がやや強いため、帽子をかぶり、長靴を履いて竿に駆け寄った。ラインの出はそこそこいい。竿を持った瞬間、その手応えから少し期待できるサイズであると確信した。何度も沖に向かって突進するが、じっとこらえる。ドラッグ調整は万全である。やり取りの最中に適度にラインが出ていく。引きが弱まった時にじわじわと寄せる。すぐ目の前まで寄ってきても、何度も沖に向かって突進する。まだ一度も浮き上がってこない。この引きはおもしろい。口切れやすっぽ抜けがないように、無理せずじっくり時間をかけてやり取りをした。その間も雨は降り続く。やっと向こうから浮き上がってきたためタモを手にしたが、それからさらに何度も突進しようとする。しかし、徐々にパワーが無くな

りネットイン。久々に釣り甲斐のある鯉だった。この時点ですでに満足感はあったが、マットに乗せて傷ひとつない立派な姿にさらに満足。



この雨の中、写真撮影はどうしようかと考えた挙句、車のバックドアを跳ね上げて、その下にカメラを三脚でセットした。これならカメラが濡れてお釈迦になることもない。自分の方はずぶ濡れになりながら何度となくセルフタイマーで撮影する。撮影中に他の竿にヒット！やれやれと思いつつ、鯉をマットに置いたまま竿に駆け寄り、すばやく取り込んで戻り、再びマットの鯉を持って撮影続行。十分な枚数を撮影したところで、マットに乗せたまま鯉を移動してリリース。長時間水からあげられていた割には、元気に水中に潜って消えていった。後で釣れた方の鯉は70cm位のサイズで、即リリース。

車の中で簡単な朝食を取り、仕掛けを作って時間を過ごした。実は今回、本を持って来るのを忘れてしまった。単独釣行でかつ雨のときは、本がないと最悪である。仕掛けを作ることぐらいしかやることがない（笑）。そんなことをしていると、またまたヒット！昨夜到着した時に打ち込んでからほったらかしになっていた竿に、体高のある70cmくらいの鯉がかかっていた。

つけっ放しのラジオから、最新の台風情報が流れてきた。8日の午前3時からお昼までが、関東地方では最も台風の影響があるらしい。気圧は940hPa。九州付近に到達している割には勢力が衰えていない。これはやばい。明日の朝までやってから帰ろうかとも思っていたが、荒れ狂っている中での撒収になりそうなため、今日撒収することにした。午後1時半の空当たりを機に撒収を開始した。

3泊4日の釣行予定が1泊2日のミニ釣行に変わってしまったが、8回の当たりで5本ゲット。90オーバーも出て、十分満足な結果となった。

次第に風雨が強くなる中、「今から帰る。」とカミサンに携帯で連絡し、車のエンジンをかけた。運転中に冷静に考えてみると、今回も出した竿すべてに当たりがあったことに気づいた。タニシPVAを使うようになってから、当たりが多くなった気がする。しかし、今回のような雨の時はPVAが破れやすいためなかなか難しい。雨対策を考える必要があるようだ。

霞ヶ浦・鰐川・北浦釣行 2006.10.6～10 地鶏オヤジ

10月6日、日本の南岸を台風16・17号が通過し関東地方は大荒れの天気となった。せっかくの休みに自宅で釣りに行くか行くまいかと悩んでいたが、荒れた天気の時には大型が出る？に期待して霞に向かって車を走らせた。

目的の釣り場に昼過ぎに着いたが、とても竿を出せる状況ではない！強い風雨と護岸を越える波。風裏になる場所を探し、暫く様子を見ても風雨がおさまる気配が全く無い。意を決して合羽を着て竿を出した。1本目の竿を伸ばし仕掛けにえさのタニシをセットし1投目を投入。風が強くて思ったポイントに入らず、もう一度投げようとリールを巻くが、いきなり根掛で仕掛けを切る羽目に、「やっぱり今日は止めて帰ろうかな？」と考えた。しかし、霞では過去に同じように増水した時に大型が釣れたと記憶していたので気を取り直し、計4本の竿を出した。

強風で夜中も車が揺れて眠れない。センサーは風にも魚にも反応することなく朝を迎えた。

7日の朝も台風の影響が残り風は強かったが、雨は峠を越した様で時折小雨が降る程度となった。風は追い風でこませのタニシが遠くまで飛び、向かい風では考えられない程、沖のポイントにも仕掛けを投入した。合計6本の竿を水門周りに出して、午前中は増水した霞に延べ竿を出し、浮き釣りを楽しんだ。一投目から浮きが横に動くアタリ

があり、合わせるとやはりアメリカナマズが釣れた！一投目からこれだからきっとアメリカナマズの入れ食いを予想したが、その後は時々あたる程度で70台の細長い鯉も釣れてそれなりに楽しめた。本命のタニシ餌には期待ほど大型のアタリは無く、夜にまあまあの80台と60台が釣れた。

8日、台風が本州から離れて天気が回復し日差しが眩しいが、風は相変わらず北風が残って強く吹き、霞の水位は昨日より更に増している。午前中にアタリがあるも杭に巻かれてしまう。午後回数回アタリが来て80台と70台を釣るも、期待する大型は来ない。

9日の朝、霞の水位を確認すると若干下がっているのが確認出来た。天気は相変わらず非常に良く、太陽の光が湖面に反射してまぶしくてたまらない。気温もどんどん上昇するのが分かった。水位が下がっているのでこの場所もそろそろ終わりにし、流れのある鰐川に移動することにした。

鰐川に到着し何処に竿を出すか暫く車で走ったが、どこも有名なポイントには竿が出ており鯉師の車があった。一度も竿を出したことの無い場所だが、道路の横に広い駐車スペースがあり、水面に太い1本の杭が出ていたのでそこを目印に6本の竿を出した。流れは予想に反して逆流していてそれほど早くは無い。

早めの夕食を食べ、ビールを飲んだら眠ってしまい、夜9時過ぎに

車の気配で目が覚めた。外をみると車のヘッドライトをつけっ放しで、私の竿の近くに立ったり、車に乗ったり降りたりする挙動不審の男がいた。初めは竿泥棒が来たのかと思って木刀持って構えていたが、竿泥棒がヘッドライトを点けたままにする訳ないし・・・？暫く様子を伺っていたら私の車の前方に移動して、又、車から降りて土手の下に行ったり、時々独り言を言ったりで、薬物中毒者か精神異常者のような行動で、これはヤバイな！と思い3時間近く様子を見て移動しないので警察に電話しようと考えている時に、やっと立ち去った。また来られては困るので慌てて竿を仕舞い逃げるようにその場を離れた。(竿を仕舞う時に道糸に大量のゴミが付いており、流れも速かったので、早々に移動して正解でした。)

鰐川を離れ北浦の右岸を車で走り、以前何度か竿を出したことのあ
る水門まで来て空いていたので迷わず竿を出した。深夜の場所移動だ
ったので素早く竿を出し寝ることにした。

朝5時過ぎにセンサーが入り、竿を持つと確かな手応えで良型を予
感させた。何故か魚は反時計回りに移動する、手前まで来ても半時計
方向に移動するのでしまいに入ってしまった。何とか水門
の中から魚を出してタモにいれたが、針の掛かっている場所が何か変
だ！タモに収まった魚を良く見ると口ではなく左頬に針掛りしている
ではないか、「何だ！スレか？」90台のスレは初めてであるが良く見
ると、魚の口が少し切れている。口切れした後に頬に針掛りしたよう

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

だ。ラッキー！通常なら口切れした時点で終わりである。魚には不運であるが、私にとっては幸運であった。

その日の昼に、北浦で竿を出していた H 塚さんに電話で検量をお願いすると快く了承して頂いた。さらに、私の鯉釣り師匠も駆けつけてくれて昼過ぎに検量を済ませた。検量の結果は95cm。鰲川から移動してこなかったら釣れて無かったと思うし、口切れした後に頬に針掛しなかったら釣れていなかったと思う。偶然でも最終日に釣れて、十分に満足できる一匹でした。



北浦のモンスター遭遇記 2006.9.21～24 mi○



21日木曜日の午後。仕事の休憩時に携帯をチェックすると、昨夜地鶏オヤジさんからメールが入っていたことに気がついた。夜遅い時間に北浦に到着したらしい。遅ればせながら返信してみ

ると、ちょっと前に87cmをゲットしたと返事があった。私も今週末は北浦に行こうと決めていたのだが、メールをやりとりしているうちにどうしても1日早く行きたくなってきた。今年は夏休みを取れないでいるどころか、代休も随分溜まってしまっている。いい加減消化しなければならない。我ながら最近をよく働いていると思っている。自分へのご褒美ということで、急遽金曜日は代休とした。

22日金曜日。午後2時北浦到着。周囲に鯉師の車が数台停まっているが、ポイントはまだまだたくさん空いている。地鶏オヤジさんと相談して、少し離れたゆるいカーブに竿を出すことにした。真正面に杭が立っている。その杭の右側にタニシエサ、左にボイリーを投入した。今回のボイリーはNGカーブのダイナマイトベイツ・ボトム（パイナップル）20mmで、ヘアリグに2個付ける。

竿のセッティングが終了し、一息ついてから地鶏オヤジさんが釣り上げた鯉の写真をを見せていただいた。丸々太った典型的な北浦体型の



綺麗な鯉である。一昨年あたりから北浦らしからぬスマートな鯉が釣られることがしばしばあり少し気になっていたが、この太った鯉の姿を見て安心する。

間もなく私のボイリーにヒット！しかし穂先が少し動くだけ

で食い込まない。これはジャミがかかったかと思ってリールを巻き上げると、ハリに何かヒラヒラ付いてくるものがあった。確認すると立派にヒゲがある。なんと17～8センチの子鯉であった。ボイリーもフカセ18号のハリも、どう考えてもこの鯉の口に入るとは思えないのだが、現実的に口にハリ掛かりし、しかもラインを引いてセンサーのスイッチまで入れた。私のぶっ込み釣りの最小記録を大幅に更新することになった。その後40センチクラスの鯉2匹とニゴイがボイリーに掛かってきた。このボイリーはアタリが早いが、鯉のサイズが小さいのが残念である。

夜中もボイリーに頻繁にアタリがあつてセンサーが鳴るものの、空アタリばかりで寝不足になる。未明になって、ボイリーを付けた竿のセンサーをはずして寝ることにした。

数時間後、外の明るさに目が覚めた。時計を確認すると7時。さっそく車から這い出し、全ての竿のエサ交換をした。昨日から続してい

る北東の風がまだ強く、タニシのコマセを撒くことができそうもない。仕方なく食わせエサだけを打ち込むことにした。

9時半近くになった。私はコンビニに行くために、地鶏オヤジさんにセンサーの受信機を手渡す。そして自分の車に近づいたちょうどその時、車の中に置いてある受信機が鳴り出した。「またボーリーか？」しかし竿を見ても当たっていない。「おや？」と思いタニシエサの竿を見た瞬間、激しくリールのクリック音が響いた。駆け寄って竿を手にするまでの間、クリックは鳴りっぱなしである。杭に一番近い竿の穂先が食い込んでいる。

竿を持って落ち着いてアワセると、杭の方向に逃げ込もうとしている。あわてて護岸を右手に移動し、杭から離そうとする。竿を立てるがビクともしない。杭に巻かれたと思った次の瞬間、相手はゆっくりと杭から離れるように移動を始めた。

「これは、なかなかいいサイズかもしれない！」

無理をしないようにゆっくり手前に寄せる。隣の竿のラインに絡みそうになり、しゃがんだり立ったりしながらやりとりする。地鶏オヤジさんが、絡みそうになった竿を上げて、応援してくれる。だいぶ手前まで寄せても、一向に浮く気配がない。鯉の手応えとは違う、圧倒的な重量感！一瞬背ビレが見えた。「アオだ！」まさかここでアオウオに出会うとは……。10号ラインが糸鳴りを始める。愛竿「小笠原」が弧を描く。「ギョルルル……」時折激しくラインを引き出すモニター。いつもならリールのクリックを切ってやりとりするのだが、



今はこの音がたまらない。魚体が浮いたかと思うと、再びラインを引き出す。「ギュルルル・・・」一度に引き出す量が半端じゃない。

「バラさない程度に楽しんでく

ださい！」

やりとりの写真を撮りながら、地鶏オヤジさんが声をかけてくれる。両腕が次第にパンパンに張ってくる。

「フック、はずれないでくれ・・・」

祈るような気持ちで寄せるが、相手はまだまだパワーが残っている。

「ギュルルル・・・」 両手で竿を支えてこらえる。暫くこんなやりとりを繰り返す。どれほど時間が経過したのだろうか。ついに魚体を横たえ、全身をあらわにしたアオウオは、地鶏オヤジさんの構えたタモに一発で吸込まれた。

車を護岸に停めてやりとりを見ていた方にお手伝いをお願いし、私とふたりでタモ網を持ち上げてアンフッキングマットまで移動した。長さ110cmのマットから、尻尾が大きくはみ出している。ハリをはずすと、フカセ18号が伸ばされているのがわかった。ちょうどその時、隣に竿を出していた大江戸鯉道楽の戸部さんと諸江さんが駆けつけてくださった。検寸台が120cmまでしかなく、長さが足りずに困っていると、諸江さんが工事用メジャーを貸してくださる。地鶏

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

オヤジさん、諸江さん、戸部さんの3人で検寸の結果、138cm。魚体が傷まないうちに写真撮影に入る。しかし、重くて持ち上がらない。ふたりがかりで魚体を持ち上げ、しゃがんで両腕を出した私に乗せてくれる。



「うわー、重過ぎる・・・。地鶏さん、早く撮って！」

カメラを構えた地鶏オヤジさんが何枚も撮影する。だんだん腕がこらえ切れなくなってくるが、なぜか表情はニコニコのまま。腕が限界に達したところで撮影終了。すかさずリリースする。水中に戻ったアオウオはすぐに姿勢を戻し、悠然と姿を消していった。

急に脱力感に襲われた。喉はカラカラだった。両腕が重く感じられ、腰は限界に達していた。それでも椅子に座って休むわけでもなく、車

の横に突っ立っていた。まだ興奮が冷めやらない。すべてが今までとスケールが違った気がした。「これがアオなんだ・・・」

これほどの満足感に浸ったことはない。今日はまだ十分だと思った。そして協力して下さった周りの人達に感謝の気持ちで一杯だった。

午後3時頃になって、地鶏オヤジさんが帰宅。その後私の竿にアタリは無く、深い眠りの中に夜が過ぎ、次の日の朝を迎えた。

やっと風が弱くなったので、エサをすべて打ち換えた後、いつものようにコマセを撒いた。さらに、準備を済ませてあとは風が弱まるのを待っていたウキ釣りもはじめる。30分ほどでウキに変化が出始め、最初に上ってきたのは40cmくらいの鯉だった。その後、何度も消し込みがあるが、アワせても乗らない。ここの鯉は見切りが早いのだろうか。ウキの動きに全神経を集中して早めにアワセると、「シマノ爽風15尺」の穂先が いっきに引き込まれる。危うく竿を伸されそうになったところをこらえると、心地よい糸鳴りがして鯉が右に左に泳ぎ回る。無理をしないように鯉を遊ばせて、弱ったところでタモ入れする。50cmくらいの綺麗な鯉だった。一時間ちょっとでこの二匹の釣果。昨日の後遺症で腕の筋肉が痛む。本日はこれにてウキ釣り終了。

時計が10時を指したところで納竿にした。今回はぶっ込み釣り最小記録の鯉と、初アオウオのゲット。そしてウキ釣りまで楽しんで、バラエティにとんだ釣行であった。地鶏オヤジさんのメールを起点とし

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

て、色々な偶然が重なった末にこんな結果に辿り着いた気がする。何かとても不思議な感じを抱きながら帰路についた。今度は是非、巨鯉に巡り合えますように・・・。

GW 荒川釣行 2006.5.3 ぼらひで

さあ、GWも後半に突入。今年のGWは訳あって泊まりの釣行が出来ないので荒川に。6:30に家を出る。本当はもっと早く家を出たかったが昨晚、同僚との深酒が効いて起床が遅れた。Gがサヨナラ負けすっからだよ(涙)今日もいつもの場所。ただ、隣に先人がいらっしやったのでちょっとだけ下流よりに竿を出す。今日は中潮で、餌はどすこい+コーン(食わせ)。どすこいは私好みの結構いい匂いで握りやすい。「いいじゃん、これ」と思いながら団子を作り投入。Gが負けた翌日の新聞はあまり面白くないが、とりあえず読みながら朝食。

8:50、ぴびびび〜1番竿だ。竿を持つがあまり重くないが鯉だ。ん〜幸先いいじゃん!60cmだった。ハタキの後か?体中がキズだらけ。すぐにリリースし、餌を打ちかえる。ふ〜、とりあえず今年も両目が開きました。ぴびびび〜、またヒット!えっ、5分前に打った1番竿にまた当たりだ。竿を持つと重い!「う〜、久しぶりの感覚〜!」とやり取りをしていると後ろの野球場からギャラリーが大勢いらっしやった。「釣れてるよ〜」と「へ〜荒川で魚が釣れるんだあ・・・」と毎度毎度の反応。魚が浮いて「デカッ!」と思った瞬間ギャラリーの皆様「でっけ〜!」コール、一躍時のヒトになってしまった(笑)久しぶりの大魚に慎重にネットイン。持ち上げようとするがおっも〜。やっどこさ岸に上げ、草の上に置くと70cmの玉網から尻尾が全部はみ出てる。大勢のギャラリーの前で検量すると94cm。やったー!

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

荒川の自己新記録だ！！久しぶりの90台にうれしさがこみ上げる。

カメラカメラと探すが無い！無い！！無い！！げ～カメラ忘れた

(爆笑)仕方なく携帯のカメラで撮影するが天気がよく液晶画面が反射してよく見えない。何とか魚単体の撮影が出来たので、魚を持った写真の撮影をギャラリーの方に頼む。ん～せっかくの自己記録だったのに……。丁度、管理人殿からTELが入る。「でかいのが釣れたから、折り返し電話しま～す！」なんというタイミングだ！リリース後TELすると「おめでとうございます、荒川の自己記録ですね！」とお祝いの言葉をいただいた。年に数回しか会わないが、釣り仲間というのは本当にありがたいものだ。



その後11:30に65cmを追加、2番竿だ。さらに12:00にまた2番竿。これはいい当たりでえらい走られ掛に入られてしまった。仕方なく糸を送り出しそのままにしておく。12:50、その竿のセンサーが鳴り響く！「やっと出たか」と竿を持ってやり取りをは

じめた瞬間にラインブレイク、残念！更に13:05に一番竿に当たるが竿を持った瞬間に軽くなる。仕掛けを上げると針に魚の口の一部が・・・口切れだ。またまた残念！その後3時まで粘るがあたり無し、今日はここまで。久しぶりの90台でとってもうれしかった！！餌のどすこいもいい感じだった。で、いつも3本竿をだしているが、3番竿に当たりがまったく無いのはボイリーを使っているからです。ポップアップタイプを使っているがまったく反応が無い。明日はマルキューさんのボイリー粉を使った自作タイプを使ってみようと思う。

利根川釣行 2005.9.17～19 中ソン

土曜日は午前中仕事の為、自宅を pm 1 時出発。今回はA氏竿と煮込みマッチョさんと3人(青氏三人組)での見開拓ポイントへ。

先に土曜日朝方到着の煮込みマッチョさんが水門ハキ出しへセット、その後私が3時半に到着。しかし、先客が入っていた・・・残念(><)新たにポイントを探しましたが、良さそうなポイントが見付からず、A氏さんが入る予定のポイントから上流へ担ぎ込みにてセット。セット中に煮込みマッチョさんから電話、ラインは出ましたが乗らなかった！！との事、期待できますね！！私もワクワクしながらセット！！しかし、担ぎこみの為、掛ったら運動会覚悟(^^)A氏さんは夜9時半ごろ到着。エアコンが壊れ窓全快で走って来たので顔に疲れが(^^)A氏さんがセットしながら、3人で雑談。時間も深夜0時間も過ぎ就寝。

翌朝、3人センサー鳴らずに起床。午前、午後と、アタリなしガックリ、オマケに暑い・・・・・・(泣)。夕方煮込みマッチョさん空当たり一回煮込みマッチョさんの方はアタリがあり。期待大！pm8時半ごろ私のセンサーが鳴った！ダッシュ！でしたがドラグの音は鳴ってなく無情にも食い逃げ・・・・(泣)am0時半またも私にセンサー！がしかし、クリップは外されずに、空当たり(泣)外で、A氏さんと竿の前で話していたらA氏さんの竿が揺れている、フワ、フワ、一気に竿が絞られクリップがパチン！が走らない、二人で様子を見ながら待機、

するとラインが出ていった、が、そのまま、終了。残念。食いが渋く、乗ってくれない(泣)それから15分程で私の竿にヒット！外に出ていたので楽に竿まで到着！ヨシ！乗った！今回も手前にテトラ、が、しかし・・・水位は下げてしまい、取り込みは厳しい、しかし二人なら大丈夫！A氏さんにテトラの上を歩き沖5m程行っていただきネットの用意。獲物が浮上、A氏さんが鯉じゃない！青だ！難無くネットイン！A氏さんありがとうございました。110以上ありましたが、まだ子青の為リリース。でも一本出てホットした。その後就寝・・・Zzzz。

朝方、煮込みマッチョさんから電話、青でした！おめでとう！どのくらい？40台！やった！凄い！と思っていたら40台で40cm！朝4時半で寝惚けていたので、頭が回らず・・・(笑)ある意味、青最小記録！にビックリ(笑)。そのまま起床！私は、撒収準備に。型は小さいが、青が見られたから今回は満足、満足と撒収をしていた。が、ここで！奇跡が起きた！竿2本しまい、3本目に行こうとしたら、パチン！ジー！とハジケタ！撒収中のアタリ！わぁ～お(笑)。ラインは沖へ一直線！竿を持ち！ヨシ！乗った！手応え十分！青魚確定！寝る前より水位が上がりなんとか一人で取り込める！約15分程で浮上し、何度か危ない時はありましたが、ゲット！まだ朝が早かったので二人を起こさずキープ。am7時ごろ、A氏さんと煮込みマッチョさんに計測してもらい、131cm。A氏さん、煮込みマッチョさんあり

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

ありがとうございました。3人での釣行で私だけ良い思いして、ごめんなさい m(_)_m。次は私がタモ入れ、写真係りしますね！(^_-)☆



霞ヶ浦釣行 2005.8.27～28 平石

金曜日の夜中に霞ヶ浦に向かい、12時頃に到着。竿を出そうとしたところアミが仕掛けてあったため場所移動し竿を出し2時ごろに就寝
z z z・・・午前中までアタリなし・・・ヤバイかも・・・天気予報を聞くと南東から北東に風が変わるとの事なので、場所移動することにした。風向きから良さそうな場所を思い出し、行ってみると釣り人の姿は無しラッキー♪底を探ると良い感じの底質、早速セットして一休み。午後10時ごろに予報通りに北東の風が強くなり期待し待つことにする。

12時ごろに最初のアタリがくる、やりとりをしているとサイズはよさそうだと思い上げて計ってみると88cmのなかなかのサイズだった。その後はam4時半、6時半、8時半とアタリはあるが70台後半、いまいちサイズが伸びない。しかし風は北東が吹いているのでまだアタリが来ると思い期待し待つことに。9時にアタリが来た！！竿を見ると沖に向かって絞り込まれている！！慌てて竿を持つと竿掛から竿が抜けない！！ドラグを緩めて竿を持ち再びドラグを締めてやりとりをするとその重量感と引きの強さでなかなか寄ってこない。かなりのサイズと思い慎重にアミに入れ、上げてみるとデカイ！！ヨッシャー！！メーターあるかもしれないと思い計ってみると102cm 15kgだった。ついに2001年9月の100.5cmの自己記録

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

を更新して、秋田・中ソンさんに並んで2本目のメーターオーバーを釣上げた！！



利根川釣行 2005.7.30～31 中ソン

30 日朝、利根川到着、今回はポイントを移動し深場へ…。1 時間以上底探り…。その後草刈をし、ポイントを決めてセット。薄曇りではあるが非常に暑く、蒸している、午前中はアタリなし、昼食を取り暫し休憩……。そろそろ釣らないと、秋まで厳しいかな～と考えていた？今回のポイントはテトラが入っている、ラインが擦れて切られないよう注意が必要…？ん？ラインはナイロン 10 号ハリスはフロロの 14 号…？フロロは根ヅレに強い？弱い？前回の釣行でフロロ 14 号が何かに触れて伸びて切れてしまった事を思い出した。今回は！急いで巨鯉ハリスの仕掛けを作りはじめた！

エサチェック仕掛けをすべて変更した、これで安心？、暫し休憩…とにかく暑く、土手の方へ移動してエンジンをかけてエアコンオン！ふう～涼しい～と涼んでいたらセンサーオン！慌てて運転席に座り、もどった。何番竿？振り返り番号確認 4 番と表示、タモを持ちダッシュ！ラインは一定の早さで出ているこの時点でライン 40m 程出ている！竿を持ちヨシ！乗った！が、止まった…？あら？巻かれた？が魚は付いている、ラインはギシギシ擦れている…2、3分して何かから外れ走りだした！この手応えは！ここで確信した！青だ！手応え十分のまま手前に寄ってきたが、そう簡単には姿が見れない！テトラの際でのやり取り、これは危険！と魚が反転した時にテンションを緩めて沖で疲れさせようと判断した、すると、物凄い勢いで沖に走り出した！（約 50m）そろそろ止めよう！ドラグを調整し絞った！ヨシ止まっ

た・・・青も疲れて来たか、右へ、左へゆっくり動きが遅くなった、10分程遊ばせ一気に手前に寄せに入った、手前に来たが、青も最後の力を出して底に張り付いたので、暫し休憩・・・こちらも疲れたので、こちらも1分程動かずに休憩・・・。(足、腰、しびれていました)魚体が見たい！

いまだに姿が見れない！一度空気を吸わせる為に浮上させようと判断すると暴れだしてそのままジャンプ！わあ～デカイ～！これが最後の青の力かな？潜らない、そろそろ格闘は終りだな、と判断、タモの用意に入り寄せに入った、ガボッ！！と出てそのまま観念してくれた。が、しかし...！青の魚体が、魚体だけにテトラに引っ掛かり手前に寄らない、青が横になってしまい座礁？(笑)これは厳しく、縦で入って来れば問題はなかったが、横になって引っ掛かってしまった！なんて落ちだ！(ToT)仕方なく利根に入ろうと決断！抜き足、指し足、忍び足とゆっくり入って行った(ToT)すると・・・忍び足の時にテトラの間に足がズボッ！！！！と入り肩までドブプリ利根川温泉？(ToT)気持ち～！(^O^)正直あせってました(大笑)！テトラが有るため、下から青が掬えず自分竿を、一度捨て、タモを両手で持ち掬おうとしましたが、なかなか入らず抱き抱えてタモに押し込みネットイン！うお～疲れた！(ToT)喜びと苦しみを一度に味わい土手に腰を下ろした、夜じゃなくて良かった～とホットした。2人でやり取りならこんな苦労はしません！1人の取り込みは怖いですね！！！！(大笑)

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

夕方来た A 氏さんに計測して頂いた結果 148cm 自己記録更新、重量は？とにかく重かったです。久しぶりの引きに大満足。夢の 160 台の青にめぐり合えるのはいつ？まだまだですがこれからも頑張りたい！



水郷方面単独釣行 2005.6.18～19 平石

土曜日の昼間に釣り場に到着、初めての場所で底を探ると良い感じ♪期待しながら車内で待つが一向にアタリは無い・・・初めての場所でアタリが出る時間帯が分からないので、とりあえず様子を見ることにする。昼間は全くアタリが無く少し不安になるが、移動する時間も無いので夜中～明け方に期待して就寝 z z z・・・

am 4 : 0 0 に待望のセンサーが！！竿は良い感じに曲がっていてドラグもそこそこ出ている！！竿を持つとなかなかの重量感で期待しながら上げてみると 8 5 c m でした。いきなり 8 0 台が来て喜んでいると am 4 : 3 0 にまたまたセンサーが！！今度はある程度締めたドラグが勢い良く出ているので大物を確信！！慎重にやりとりをして上げてみると、驚きの 9 6 c m ！！ヨッシャ～目標達成♪（平石と秋田は毎年 9 0 オーバーを最低 1 本釣る事を目標にしています）去年は不調で 9 0 オーバーが釣れなかったなのでこの 1 本は嬉しい。



Monster Carp Fishing in Japan - Diary

エサ撒きをして次のアタリを待っていると、am 8 : 0 0 にまたまたセンサーが！！竿を立てるとさっきの 9 6 c m 程ではないが、これもなかなかの重量感♪上げてみると 8 7 c m でした。その後はアタリが遠くなり、次第にバス釣りやボートも増えてきたのでお昼前に終了。短時間で 8 0 台×2 本・9 0 台×1 本と大満足の釣行でした。

久々の釣行記 2005.5.26～27 地鶏オヤジ

思えばここ数年、良型に恵まれず納得のサイズが出ないと釣行記を書かない我がままな性格のため、お休みしていました。やっと、納得のサイズが釣れましたので二年半振りに釣行記を書かせて頂きます。

5月26、27日に霞ヶ浦で竿を出しました。今回は北浦にするか霞ヶ浦にするかは悩みませんでした。理由は先週の北浦釣行（2泊3日）で全くアタリなく坊主を食らったのと、今回の釣行数日前に霞のドックに竿出していたヒロさんが98cmの良型が出たとの情報で、ヒロさんの後に同じドックに入ろうと考えていたからです。

霞のドックに向かう途中に一級ポイントがありますが、地元の釣り人の姿は見えませんが鯉師の姿はなく「平日だからかなあ～、釣れていないのかなあ～？」などと考えながら目的のドックに向かいました。ドックに着くと既に車が停まっており、竿が出ていたのでドックを諦め、来る途中のポイントに竿を出すことにしました。スーパーで食料とビールを買い込み、釣り場に着いたのがお昼少し前、気持ちの良い天気でも気温も上昇し喉が渴いていたので竿を出す前に缶ビールをグビッと！「あー美味しい」

竿を出した場所は護岸の近くに数本の杭があるところで、数週間前にここで竿を出したときは70、80台が釣れたので期待が持てる場所だと思っていました。竿は手前の杭をはさんで両側に3本ずつ出すつもりでしたが、杭の左側近くに地元の釣り人が竿を出していたので

杭の右に3本出して暫らく待ち、地元の釣り人が帰った後に残り3本の竿を出そうと考えていました。

杭の右に3本だけ竿を出した状態で待望のアタリが！竿を出してまだ2時間経っていない。先週の北浦では3日間で全くアタリなしだったので、こんなに早くアタリが来るのが意外な感じ、釣れた魚も86cmで嬉しかった。「なにか今回はいい感じ・・・？」地元の釣り人が帰ったので、残りの3本をお約束通り杭の左に出した。自分以外は周りに誰も居なくなり、いい感じでアタリを待っていると午後4時に2回目のアタリが！先に3本出した真ん中の竿があたって78cm。「この調子なら夜にサイズアップ？」と期待して待つことにした。夕方、福島から来られたS田さんが、隣に竿を出すと声を掛けられ、私の後ろに竿を出された。

夜中はアタリなく朝方5時過ぎに妻からメールで目が覚める、何でこんなに早い時間にメール送るかと怒りながら周りを見渡すと、夜は明けていたが濃い霧が立ち込めて視界が悪い。再び睡魔が襲ってきて二度寝に入った。どれくらい寝たかわからないがセンサーの音で飛び起きた！杭の左に出した竿で、結構手前に投げた竿だ！竿は大きく曲がり勢い良くリールから糸が出ている！竿を持つと確かな重量感が伝わり良型を予感させた。ゆっくり慎重に寄せるが、ある程度寄ると沖や左右に走って糸を出し、また寄せるを繰り返した。近くに寄ってからもなかなか顔を見せず、久しぶりに味わう強くて元気のいい鯉の

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

引き！「あー快感」 鯉が弱るのを待ってやっとタモ入れする。全力を出し切ったのかタモ入れされた鯉はおとなしい。検量台を準備する間も暴れることなく検量も楽に済ますことができた。検量の結果97cmの自己ベスト更新！



思えば6年前に霞で96cmを釣り、その後も90台は何本か釣ったが、重量ははるかに重く体高もあり、見た目は96cm以上に見えた北浦の鯉も検量し長さを測ると、自己ベストタイに終わっていたので、久しぶりの自己ベスト更新で嬉しい。

次の自己ベスト更新は何年先？メーターゲットは何十年先？よーし、頑張るぞ！！

追伸)

福島のス田さん、写真撮影して頂いてありがとうございました。

利根川釣行前半戦 2005.4.29～5.1 中ソン

4月29日、pm20:00出発。私は一足先に到着、A師さんは夜明け着。pm22:30到着フウ～(><)疲れた～(^^)今回はポイントを替えての釣行。底探りはしてあるので。さっさとセットして即就寝。Zzzz・・・

am6:30ごろ起床！あれ？？？A師さんが来てない？？朝方来る事になっていたのに？寝坊？暫しアタリを待っていた。秋田さんと平石さんと携帯で、今の状況と期待度と魚の気配と色々話して、期待をします～よ！！と応援メールが来た。今回は私の理想の食わせのタニシが捕れた。秋田さんと平石さんへ絶対上げると宣言した。

am8:00ごろA師到着、おはようございます！！遅いですね！！寝坊？？と聞くと、違う違う！！徹夜！！と言っています、何でと？聞くと食わせのタニシと撒きえのタニシを一睡もしないで捕ってきたそうです（^^）A師さんも疲れた～といっぷく！すると、パチ～ン！！とクリップがハズレ、センサーオン！！来た！！障害物の前にセットの為ドラグは締めてあるがラインは出っ放し？？あら？もしかして？いきなり本命？？（本命は鯉メーターか、青魚のことです）(^^)外に出ていたのでゆっくり竿を持つ、手ごたえ十分(^^)A師さんスイマセン！！いきなり本命！！(^^)A師さんマジで～とネットを用意してもらいました。腹に石突が突き刺さる痛み(^^)手に汗握る気分サイコー！！中々浮上しない！慌てず！慌てず！障害物の前でのやり取り

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

の為底を切って中層で引きに耐えて、五分少々でしょうか、手前に寄ってきた、あら？青にしては小さい？鯉だな？まだ中々頭は出さずに突っ込んでいる！！鯉とわかり一気に勝負に出た！それ！！と一気に浮かせた！！ワ～！！デカイ！！90後半かメーターだ！！何回か枠をけられましたが、ネットイン！！即計測開始A師さんへ頼みました。すると100.5cmです！！ヨシ！！利根のメーター捕った！！とガッツポーズ！！秋田さんの110cmにはとどきませんが、利根川のメーターは、夢でもあった！！A師さんありがとうございました！！



その後A師さんもセットして30分程でセンサーオン！！早～い！！85cm、又1時間程でセンサーオン！！80台！！鯉の活性が高く、その後も2人で4時間鯉のオンパレード（^^）！そろそろ青

魚来ないかな??と話していて青師のA師さんはここまで鯉が当たると青は厳しいかな????と言っていた。午後はまったく当たらず昼ね。そうですA師さんは一睡もしていない。お疲れ様です。夕方川を眺めていたら出ました!!!雄大に泳ぐ青魚の魚体が!!頭、背ビレ、尾、全体をだしていた。デカイいる!いる!よし!夜絶対捕ってやる!!2人で夜に期待して就寝。Z z z . . .

翌朝、私はアタリなしA師さんアタリ2回どちらも鯉。私はこれで終了!!!A師さんお疲れ様でした。A師さんは2日の昼間での釣行。頑張ってください!!と私は帰りました。

青魚 141 2004.9.25～26 中ソン

25日午前中仕事の為10時半利根川へ出発。釣友青師A師さんは金曜深夜先に到着し情報聞きアタリは土曜日の朝1回アタッタと言う事で期待はあると思い期待ワクワクで釣り場へ急いだ>>>>>>。だがしかし土曜の日中はどうしても渋滞していた?????3時間半もかかり釣り場へ到着(><)1時間程でセット完了少々はなれたポイントでA師さんの所へ遊びに行った、どうも～!!!雨は降ったり、止んだりで大変だが、なんか出そうとワクワク!!水温25℃を切っていたので期待できる!!車へ戻り暫し休憩・・・

夕方4時ごろA師から電話、出ました～!!計測お願いします～!!わぁお～早い!!行ってみると綺麗な魚体の青魚!!いいな～(^_^)羨ましいといいながら計測開始記録142cmA師さんは3週連続の青ゲットと波に乗っています、さすが青師です。おめでとうございます。私も負けられないと気合入れて釣り場へ戻り暫し休憩。p m 7時半ごろ待望のアタリ!!来た!!と竿の所へラインは出ましたが・・・子鯉です(><)残念・・・



p m 8 時秋田さんからメール。どうですか?? ?とメールが来てダメで~す (><) !!とメールでの会話が続きその後、p m 8 時半にアタリ!! 来た!! 竿を持ち乗った!! がしかし手前に走って来たのか、たいしたことない? 又子鯉かと油断したら、竿が絞られた(^ ^) あら?? ? 8 0 台の鯉?? ? ととりあえず子鯉から中鯉へ変更(^ ^) なかなかの引きで楽しんでいたらその後、獲物は、怒り出した(><) ?? ? あらあらあらあらあら? ドラグが止まらない(~~) もしかしてメーター鯉?? ? よお~し!! と気合入れなおし。だが、しかし・・・ここで獲物は底にはっついてしまった。よおっし青だ!! 闘志メラメラで本気モードへ突入(^ ^) (爆笑)。その後1 0 分ほど戦い、はじめて青のジャンプを見た! デカイ!! (^ ^) 楽しい~!! 気持ちいい~!! でやっそこ浮上よおっし!! とタモに入れようと思いタモを手にとったがタモが何かに引っ掛かりタモが取れず強引に引っ張ったら・?? ? ・。。。。ボキ!!! タモの柄が付け根から折れました(><) やば、やば、携帯は車の中でA 師さんと呼ぶ事が出来ない? ? だが、なんとか、タモノ枠を持ってネットイン(^ ^) ホッ!!! 疲れた(^ ^)。

A 師へ連絡すぐに来てくれた(^ ^) 1 4 0 c m はあるねととりあえず繋いで、明日朝計測にしました。その後アタリは続きましたが子鯉で久しぶりの寝不足です(~~)。



翌朝A師さんに計測して頂いた結果141cm胴回りがすごい。記録更新とはいきませんでしたでしたが満足の結果です。A師さんとは長年釣りしていますが2人でW青ゲットは初めてです。2人とも大満足。又宜しくお願ひします。

利根川釣行、平石さんと私 2004.7.17～19 中ソン

いやいや。。。。暑い！暑い！暑かったです。凄い猛暑(><)堪えました。金曜深夜出発で日付が変わり、17日am2時半ごろセット完了。前回の場所もアタリが遠くサイズが落ちたので、またまた移動！！期待しながら即就寝zzz・・・だが夜中も猛暑で汗たらたら(><)。蚊と汗と参りました。風は生温く最悪です。でも何とかzzzz。

一時間後センサーON！！来たー！！がしかし子鯉(><)トホホホホホ。。。。又就寝。結局暑くて眠れずそのまま起床。午前中アタリなし(><)。暑い。。午後もアタリなし(><)暑い、暑い、暑い。とにかく暑い。アタル気がしない。(大泣)夕方平石さん到着、お疲れです！！平石さん到着と同時に少々風が強めに吹いてきて少し気が楽になった気分です(^ ^)平石さん30分程でセット完了。平石さん気合十分で闘志メラメラ。(^^)。でも眠そう(~~)。夕飯買いにコンビニへ買出し。平石さんのクーラーボックスはカセットボンベで冷やすタイプで氷不要、羨ましい・・・(~~)。その後23時までアタリなし、餌チェックして就寝zzzz。夜期待してましたが・・・

18日翌朝二人ともアタリなしで起床。あら？、あら？なんも釣れない？？日中は捨てて夜だねと二人で我慢しながら日中耐えていました。午前中、アタリましたが巻かれてアウト、とほほほ。。午後はあまりにも釣れないのでカニを餌にナマズを釣って遊んでいました

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

(大笑) 1本アタリましたが、またまた子鯉。(泣) がしかし夕方5時半ごろやっとききました。強烈なドラグ音!!ドラグは強めにしていたのにガンガン出ています。ヤッホー!!凄いい!!凄いい!!ヨシ!乗った!!!止まりません(><)!!ヨシ!!アオ確定!!(^ ^) 右へ左へ平石さんのポイントまで行ってしまい平石さん慌てて竿を上げて巻いてくれてありがとうございます。10分程のやり取りでネットイン!!ヨッシ!!140台。

平石さんに検量してもらい143cm 昨年の記録更新!平石さんありがとうございます。その晩もアタリなし・・・19日とにかく暑く、午前中で終了。平石さんは先週一週間残業と深夜まで仕事で体調もあまり良くなかったせいで釣果もいまいちでしたが今度は体調を整えて頑張りましょう!!!秋田さん電話・メールありがとうございました。メーターオーバーの鯉は出ませんでしたでしたが今度は頑張ります。バイ!バイ!(^ ^)。



利根川釣行記録 2004.6.18～19 秋田

仕事を終えて p m 9時半頃、釣り場に到着。今回はあまりにもアタリが無く今回も少し心配だったけど、中ソンさんから80台が出たと聞いてホッと一安心。ここは前回あまりにも暇でみんなでウロウロして見つけたポイントで、底を探ると良さそうなポイントを発見♪ セット完了後は中ソンさんと雑談しながら夕食を食べ、夜中の12:00頃にエサチェック&エサ撒きをしてちょっと話をした後就寝 zzzz・・・しばらくすると中ソンさんのセンサーが！！私のスライドドアのガラスをドン！ドン！と叩いて行ったそうですが、私は完全に夢の中(笑) 残念ながら空アタリだったそうです。その後中ソンさんは就寝 zzzz・・・

am 2:30に私のセンサーが！！ん？この時間は大物を予感させる魔の時間帯&期待して出したポイントの竿♪私は寝起きが悪く無線機の音をスピーカーから大音量で出しているの、中ソンさんの車内まで聞こえて2人でダッシュ！！行ってみると穂先が真横を向いていて、竿を立てると目の前の杭がグラグラ揺れている。うう～巻かれてる・・・ラインを張ったり緩めたりしてみるが抜けない、目の前で暴れる魚体を見ると・・・ん？？デカイ？？中ソンさんが「俺のタモの柄の方が長いから、そのまま掬えるかも！！」と取りに行ってくれました。すると杭に巻いているのに竿が絞られる、おお～すげえ～マジでデカイかも♪ 必死に耐えていると・・・ん？？もしかしたらなんとか穂先が杭に届くかも？？水際ギリギリまで行き竿をおもい

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

つきり伸ばすと・・・届いた（爆）必死にラインを解くと2回巻いていた。解けたと同時に反対側に走られたがなんとか止めて、戻って来た中ソンさんにランディングをお願いする。ネットインした魚体を見た中ソンさんが「でかい！でかい！90台は楽勝！！」マジ？？？2人でエッサホイサと運び、とりあえず計測台で計ってみる。「・・・げっ！！102cm！！」先月の110cmに続いて2本目のメーターオーバー！！夢みた～い♪「ありえねえ～！怖～い！」と2人で夜中に大騒ぎ（笑）



散々騒いだ後におやすみなさあ～いとスライドドアを閉めると同時に中ソンさんのセンサーが！！（爆）竿を立てやりとりを開始すると「ん？？？結構引くし変な感触？？？なんだこれ？？？」と中ソンさんが困惑する。上がってきたのは70台？？？どうやらガイドにゴミが絡んで感触が変だったらしい。おやすみなさあ～い zzz・・・

しかし興奮している私は眠れず、結局そのまま朝を迎えてしまいま

した。am 7 : 0 0 頃中ソンさんも起床、おはようございま〜す。金曜日の夜から来ている中ソンさんは、家族サービスの為に即撤収。(お疲れさまでした)

さあ〜ていよいよゴールデンタイムに突入♪平石と携帯で話をしてるとセンサーオン！！「行ってくるねえ〜」とTMを切ってダッシュして、竿を立てるとスッポ抜け・・・むう〜悔しい・・・と思ったら遠くから「ジ〜ジ〜」とドラグが出る音???見ると1番遠い竿がお辞儀してる♪さらにダッシュして竿を立てると引く引く♪80台かなあ?と慎重に寄せる、しかし上がってきたのは70台・・・利根川の鯉、引きすぎ・・・その後も空アタリが続く。

お昼のエサチェック&エサ撒きに備えて、am 11 : 30に早めの昼食。カップラーメンにお湯を注ぎフタをした瞬間センサーオン！！(笑)ダッシュで行くと穂先が入ったまま動かない。ラインを軽く引いてみるが空アタリ・・・エサは付いていたので、とりあえず再投入して食事を済ませる。午後に備えてエサチェック&エサ撒きをしてアタリを待つ・・・アタリのないままpm 3 : 00に撤収しました。

利根川の110 2004.5.15～16 秋田

今回はみんなの予定が合わないので、私（秋田）1人で利根川に行ってきました。15日（土）のpm6:00にワクワクしながら利根川へGO!!途中で中ソンさんからTELがあり「行きたいよ～!!夜だけやって朝帰ろうかな～」と少々壊れ気味。pm9:00すぎにようやく利根川に到着し、早速セットを開始する。しかし人の気配もなく辺りは葦の揺れる音や、鳥が暴れる音でかなり不気味・・・うう～怖い・・・速攻でセットして車内に逃げ込む。みんなにTELした後夕食をとり、エサチェック&軽くエサ撒きをしてpm11:30にアタリを期待しながら就寝・・・zzzz

翌朝（16日）のam5:30に目を覚ますまでアタリなし。前回来た時も夜中はアタリが無く昼間がいい感じだったので、今回も午前中からお昼過ぎのアタリに期待する。am6:00にエサチェック&エサ撒きをしてしばらくするとセンサーが!!しかし空アタリ・・・むう～前回も空アタリが多かったけどなぜ???と思いつつ、エサの確認をして車内に戻る。外はポツポツと雨が降り出した。車内から竿先を見ると、フワフワするがセンサーは鳴らない。

そのままお昼になりカップラーメンを食べながら「このままだったらpm3:00頃には撤収しようかなあ～」と考えていた。相変わらず雨は降ったり止んだり、時折激しく降っている。エサのタニシも残りわずかになり、最後のエサチェックの時に全て撒き終えた。「ん

～ポーズは悲しいなあ～」と考えつつTVを見ていると p m 2 : 0 0
についてセンサーが！！

車内から飛び出すと、竿先がわずかに下を向いているが動きがあまり無い。一応アミを持ちてくてくと歩いて行くと突然沖に向かって走り出した！？竿を持ちドラグを締めても竿が立たずに加速するので、「もしやこれがアオウオの引き？」とドキドキ・ワクワク♪杭が何本かあり無理は出来ないなので、沖に出してやりとりをする。かなりラインを出されたあと少しづつ寄ってきて頭が少し出た、その頭はまぎれも無く鯉（笑）離れていたがパッと見90cmはありそう♪まだ利根川で70台までしか釣っていないので、中ソンさんにあやかって90台が釣りたいと思っていました。「どうか90台でありますように～」と祈りつつ寄せてくると???!!!デカイッ!!体高が半端じゃない!!メーターを意識してしまい両手が震えはじめ、やり取りがまとも出来ない。魚体が横になりネットに入れようとする、反転したドラグを出されるの繰り返し。さすがに簡単には取り込めない。手前に朽ちて流れ着いた杭がありラインが擦れる「頼むから切れないでくれ～」と祈りつつ、6回目でようやくネットイン。

上げてみると大きさが尋常じゃない。慌ててメジャーを持って来て計るが、テンパってしまい何cmだかよく分からない（爆）1mを軽く越えているのは分かったので、落ち着いてもう1度計る。んん？1m7cmぐらいありそう???まだ信じられないので自作の計測台を計ると1m5cm、その台からはみ出ているので間違いはない!!や

った～夢にまで見たメーターオーバーを釣った♪ ようやく落ち着いたが、さあ困った。写真を撮ろうにも、辺りには人影無し。とりあえず平石・中ソンさん・ひでさん・mioさんにTMすると、みんなから「おめでとう！！」とお祝いの言葉を頂きました。「辺りに人が居ないよ～」と言うと、平石・中ソンさんがこれから来てくれるとの事。（折角の休みだったのですいませんでした）しばらく放心状態になっていて、他の竿先がフワフワしても気にならない（爆）釣り上げてから仕掛けは上げたままだったのでチェックしてみると、フロロのハリスはガラガラでフカセ針の20号は針先が折れ伸ばされていた。さすがは利根川の流れて育ったモンスターだ。夕方少しずつ片付けて、車内でボ～ッとする。

p m 7 : 0 0 頃、平石と中ソンさんが3時間半かけて来てくれた。がっちり握手を交わし、2人共自分の事のように喜んでくれた。いよいよ正式な計測をするが、以前中ソンさんが「自分も一緒に計ると欲が出る」の言葉を思い出して2人に計測をお任せする。すると「マジか～！！110cmあるぞ！！」利根川の90台が貴重なのは知っていたので、せめて90台が釣りたいと思っていたがまさか110cmを釣るとは思わなかった。雨の中ビショビショ・ドロドロになって写真を撮ってくれた2人に感謝。そっと鯉をリリースして利根川を後にしました。遂にメーターオーバーを釣る事が出来ました。しかも利根川で110cmものモンスターを釣る事が出来るとは夢にも思いません

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

でした。一緒に喜んでくれたりわざわざ来てくれた皆さん、本当にありがとうございました。



釣行記録 2004.5.3～4 中ソン

3日夕方から、平石さんと私二人の釣行です。秋田さんお疲れ様でした！！後は、任せて下さい！！（笑）夕方、私は二日目に突入のため、銭湯へ、とてもいい湯でした、平石さんは竿番です。すると平石さんのセンサーオン！！平石さんダッシュと思ったら、クリップは外れていましたがダメでした・・・・・・（泣）風向きが変わり、ものすごい風、少々不安もありますが、暫し私の車で鯉談義、するとセンサーオン！！来た！！と二人で外に飛び出し平石さんが私の長靴を履き、間違えて、すぐに履き替えて・・・・・・（爆笑）私も慌てて長靴を履きましたが、右左逆に履いてしまい変な感じでダッシュ>>>。（笑）竿の角度を上げてドラグは固めにセットしていましたので。竿が水平になりラインがじりじりと出ていました。いい引きでしたが80台の鯉でした。でも今日2本目の80台とこともあってホッとしていました。霞、北浦ならば、80台の次は90台と思いますが利根川で90台なんてそんな甘くはありませんね。昨年秋、平石さんは91cmの鯉を上げている、あの時平石さん利根の鯉のパワーに惚れ込んでいた私も利根で90台出してみたいな～と思っていました。

（奇跡が起こる?!）その後86cmを追加して合計4本まずまずの釣果でした。ひでさん、mi○さん、地鶏さん、の方もメールでやり取りで居酒屋地鶏号で盛り上がっているのが目に浮かびました。平石さんと二人で焼き鳥食べて～と、うなっていました。・・・・・・

(爆笑) 翌朝、平石さんの調子が上がらず???朝食を取り、平石さん、つまんね～!!何でもいから釣りに～と大笑い!!!私はカニがいたよと言うと、釣ろうといい始め、タニシの剥き身を餌にカニ釣りに出かけました.....んんん???冗談で言ったのが本当にカニ釣りに変更(大爆笑)。ヨシをかき分け入って行くと、居ます、居ます、平石さん真剣になっていました。釣れた～カニゲットです.....(笑)。するとここで、平石さんセンサーオン!!! (爆笑) 平石さんダッシュ私あまりにも遠い為、行ってらっしゃ～～い(笑)すると竿が鯉とは違う方へ走ってる、も・し・か・し・て????乗った!!!!ヨシ!!と竿を絞った!!!!耐えている、目の前に杭があり平石さんうまく交わしましたが、交わした為ラインが魚の進行方向へ行った為、抜けてしまいました.....

(大泣) ありゃあ.....その後何匹かカニをゲットして、なんてカニだろう???と考え雑誌でモズクカニと読んだ記憶がありモズクかな?と話していると平石さん食べたいな???といいはじめ持参した水道の水で洗い始めました。(大爆笑) 暫し、車内で休憩 zzz。

1時ごろ撤収しましょうと車でテレビを見て1時の時報と同時に、ゆっくり撤収開始、と思ったらここで今期最高の落ちです!!センサーオン!!うりゃ～とダッシュ>>>乗った!!!青の期待でしたが青ではない!!でも左右に動かなかったので、楽にやり取りできたと思ったら、ふっと浮いた魚体は、デカイ、デカイ!!90は(間違い

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

ない) 魚体を見た瞬間もう一度ドラグ調整をして、気を引き締め慎重に、慎重に、平石さんのタモにネットイン!!計測台へ載せてみると今期初の90オーバーの95.5cmガッツポーズ!!!青魚より確率の低い90台ゲットは信じられません。平石さんもびっくり、カニもびっくりです。平石さんありがとうございました。(笑)今度は平石さんのタモ係りは私がやりますので・・・・・・・・(笑)おしまい!!



22 日朝 7 時平石さん起床、私は z z z z z 何か音がして鳥フンが降ってきたか？と思いまた就寝 zzzzzz またトントントントン、、、、なにごとかと思ったら平石さんスライドドアをガラーと開けて、おはよう！ 早、早、早、さっき寝たと思ったら。。。平石さん早すぎだど（^^）平石さんの気合モードは誰にも止められないほどでした。。。。。。餌をチェックした後、違うポイントへ入っている私の知り合いの所へ遊びに行きました。行ってみるとなんと既に青魚を繫いでありました（~~）いいな〜と写真をパシャ、パシャと撮影終了。。。二人ともまたまた気合が入りました（^^）釣り場へ戻り雑談、雑談。。

a m 11 時、私のセンサーオン！！！！！！いちばん厳しい杭、ブイでのヒットです。竿持って乗った！！！！ よっし青だ！！ものすごい引き強烈、ヤバ、ヤバ、のされる。。。。やはり杭に巻かれている（~~）何とか引っぱり出してやる！！！！！！と気合を入れて耐えていました。杭に巻かれているのにもものすごい引き。何回も、何回ものされて、のされて、この野郎！！！！と引き戻しましたが、逆にもものすごい強烈なパワーにて私を利根川にドン。。。。マジかよ！！！！平石さんに引き上げてもらいもう一度ゴング開始！！杭に半周しか巻かれていない事がわかりましたが杭に巻かれているのにあの引きは半端じゃない！！絶対負けないと気合フルパワー（^^）杭が大きく揺れだしたよし！！もう少しだ、バシ

ヤ!!!よし出たと思った瞬間ブッ。。。。!!!!やられました
(><) 残念でした (><) その後平石さんの竿もセンサーは入りますが乗ってくれません (><) でも二人とも当たりが多いことで安心していました。

平石さんも私のやり取りを見て気合がまたまたはいつてきました。
絶対釣りましょうと二人で夕食、夕食。で就寝 zzzzzzzzzz

p m10 時半、私のセンサーオン (^ ^) 今度は安全な障害物なしのポイントの竿。よっしゃー!!!! 平石さんもよっしゃー!!!! 1 番竿だ!! 乗ったもらった!! またまた手ごたえ十分 (^ ^) すげー。。。ものすごい引だー!!!! 戦闘モード突入です。先程はやられたが、次ぎは絶対上げてやる!!! 右へ、左へ、沖へと戦うこと 20~30 分ようやく青浮上やったー!!!! 平石さんもガッツポーズ。検量の結果は 138 c m。

その後ポイントを替えて次は平石さんの番だよ (^ ^) とバトンタッチ!!! a m1 時頃平石さんセンサーオン来た!!!! 平石さん乗った!!! よっしと気合十分!!! あら、あら、鯉で~す。 (^ ^) 本命ではありませんでしたが平石さんも連敗脱出だー安心。その後 a m 3 時半まで当たりましたが二人とも鯉のみでした。やはり二日目もあって魚は寄ってきています。当たりは多いのですがなかなか乗らない、食いが渋かったです。



翌朝はとても寒く厳しい状態になっていました。ああ～今年もおしまいかと平石さんの車の中で雑談してしまたら、私の携帯電話が・・・ありゃ～お客さんからだ(><)「ハイもしもし」とお客さんと話をしていると、なんと平石さんのセンサーが鳴ってしまいました(^ ^)
(><) どうしましょ、どうしましょ(^ ^) 慌てた私はお客さんに一言「ちょっと目覚まし鳴ってしまい消してきます。折り返しお電話いたします」と言っていました(^ ^) 変な音とお客さんは思ったでしょう(^ ^) (爆笑) 平石さんの声が「やべー!!突っ込んでる～」竿がのさされています。。。手ごたえは???と聞くと青ではない鯉です。でもかなり引く!! もしかして利根川の90オーバーかと思いました。何とか平石さん5,6分で鯉浮上。やったーデ

カイ!!! 90はあるあるあるある、まじまじまじまじ(^ ^) 利根川で90オーバーはめったにお目にかかる事はできないよ!!! すごい平石さん。私大はしゃぎ(^ ^) すいません。。。はしゃぎすぎました。でも北浦、霞での90オーバーは釣れますが、利根川での90オーバーは希少です。平石さん、本命ではありませんがおめでとうございます。

その後あたりはありましたがのりが悪く15時に終了。記念撮影をして今年の釣納めとなりました。平石さんお疲れ様でした。また来年も宜しく御願いたします。

北浦レポート 2003.10.19～20 中ソソ

一言疲れた・・・ (><) 何で疲れたかそれは、土曜日午前10時半に自宅を出てお目当てのポイントへ向かいお昼に到着。が、しかしロープが張っていて入れません。なぜ？と思ってがっくりあきらめお次ぎポイントへ移動が・・・しかし先着がいて断念 (>>) まあまだ明るいかと余裕余裕と車を走らせ、対岸の超有名ポイントへ到着。あらあら車がいっぱいだ～入れないと、な、な、なんと地鶏さんが笑って立っていました。この間のオフ会ご苦労様でしたと挨拶 (^ ^) どうですか??と聞くと「ダメダメ、当たりなしです」あららら、地鶏さんもまだ今年は大台出していなくあせっていました (^ ^) 30分程おしゃべり、おしゃべり (^ O ^) では頑張って下さいと次のポイントへ移動。

少々雨が降ってきて、まずいと思いスピードアップ (^ ^) 30分程走っていて電話が鳴り出ると、先程話していた地鶏さんからとりあえず87cmでした!!と連絡がありました。うらやましいと思い早く竿出して～!!と、またまたスピードアップ!!お次のポイントへ到着。あら、まあ～満員御礼、どうしましょ?今回の私は何が何でも大台を釣り上げたく、どこでもいいと言うわけには行きません。ここであきらめたら今シーズンは大台が上がらないと心に思い、またまた車を走らせました。もう一度最初に行ったポイントへ向かい、ここで出せたら何とか上げる事ができそうだがロープがある事は地元の方に何か言われそうと思い我慢をして思い切り北浦へ。がしかし走りす

ぎの為ガソリンランプが点灯！！ありゃ～（><）近くのガソリンスタンドで満タン、いざ北浦へ！！

またまたここでとんでもない事が、お目当てポイントが満員御礼！！声を失いました。こうなったら最後、今年最大の引きを味わったあのポイントへレッツゴー（^^）車を走らせ急ぎました、でもまた先客がいたらどうしましょう？かなり不安になりました。16時半やっと到着。空いてる、空いてる良かった～（^^）かなりの疲労で足がカクカクです（^^）！！セット完了時間5時半。辺りは真っ暗・・・昼ごろ着いたのに・・・首を回しながら車内で休憩。あああ～疲れた、今回は絶対釣り上げてデジカメでパシパシ！！とカメラをいじっていたら、あら？な、なんと？（NO・CARD）マークが（><）終わりだ・・・スマートメディア、忘れてきました（. , ）なんてこった・・・疲れているところに追い討ちかけたひとこまでした（^^）誰が悪い？？？自分が悪い（^^）あ～あ～もういやとふてくされて車内でテレビでもとテレビをON、映りが悪い～？？？見られね～・・・今日はついてない一日でした。もういい寝ようと早々就寝 z z z z

でもなんだか寝付けずに外を見ていたら、竿セット中とは違う風が吹いています。なんか「出そうだな・・・」と思っていました（お化けではありません）。ここは今年三回目。朝方に当たりが多い為、まだまだ当たらないなと思いき毛布に包まりまた就寝 z z z 朝明け方4時

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

センサーON！！ほら来た！！と飛び起き番号表示を見て5番！！いつも当たっている所の竿ではない。スライドドアを開けパッと見たらスライドドアの目の前の竿でした。凄まじいクリック音！！目の前の竿のためクリック音がデカイ♪♪ おらは焦ってしまい、長靴転がりテラスまで、サンダルはいて外に出て目の前の竿をもとうと思った瞬間、なんと自分が滑って転倒(><) あいたたた、這い上がって竿もってゴング開始！！乗った！！手ごたえ十分！！絶対取ってやる！！以前にばらしているの、かなり慎重になりました。手ごたえはあるが以前上げたメーターよりはたいした事はないなと思い、90台だ今年初の大台だとネットインまで気が抜けないと心に思い、最後に一度タモ枠を叩かれましたがネットイン。やった！！片手では上がらないくらい重い。90はあると思うがやけに重い。とりあえず計測台へ、92cmゲット！！(^_^)重さも量ると、ひょう量計で計ってみるとなんと16キロ！！枠を差し引いても14キロは有る。



Monster Carp Fishing in Japan - Diary

喜びは夜が明けるとともにまして来ました（^^）半日近く走り回って、結果がでてとても嬉しかったです。平石さん、地鶏さん、お先に今年の大台失礼しました（^^）やれ！やれ！（^^）

霞ヶ浦釣行 2003.6.14～15 秋田

今年はバタバタしていたので正月以来、約半年ぶりに霞ヶ浦へ行ってきました。前日から平石・H野さん・Nさんが竿を出していましたが、アタリが少なく乗りも悪いので移動するとの連絡がありました。夕方から宇都宮はどしゃ降りの雨になってしまい、お客も来ないので5時頃に私も霞ヶ浦に向かう事に。時間が合えば山羊さんと一緒に行く事になっていたのですが、予想以上に早く出発したので先に行く事に・・・(笑)

p m 7 : 3 0 頃到着すると3人共外で話をしていたので、挨拶をして早速少し離れた水門に向いました。オモリを投げて底を探っていると、止んでいた雨が降り出しどんどん強くなっていく・・・そこへ山羊さんも到着して、近くのドックにセット開始。びっしょりになりながら p m 9 : 0 0 頃ようやくセット完了。車内で夕食をとり、H野さんの車内で山羊さんと3人で宴会開始♪(この3人が集まるといつも飲み会に：笑) 無線機を持って来なかったのでH野さんの無線機を借りて周波数を合わせてみる、さすがにシ～ン・・・少しするとH野さんのセンサーが！！行ってみると、どうやらのらなかつた様子。車内に戻りしばらくすると、またまたH野さんのセンサーが！！今度はガッチリとフッキング、上がってきたのは82cmの綺麗な鯉でした。

車内に戻り「いいなあ～、久しぶりだから俺も1本釣りたいなあ～」と話をしていた何気なく無線機の周波数を合わせると「ププププ」、キャ～私のセンサーが入ってる！！慌てて釣り場に戻ると竿が横を向

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

いている！！竿を立てると重いが時間が経っていたようであまり引かない（笑）しかし浅場なのに浮いて来ないので「もしかしてゴミ？だとしたらカッチョワル〜イ」、と思っていたらようやく浮いた。「でかいっ！！」顔・口の大きさがけた違いに大きいので「もしかしてメーターか！！」と期待しながら上げてみるが、体の後ろ半分と尾っぽがやや小さい。測ってみると97cm、95cmの自己記録から2年経ってようやく記録更新♪山羊さんとH野さんに「おめでとう」の言葉を頂き、その後就寝・・・



朝目を覚ましてTVを見ていると、平石とNさんが来てくれました（2人はお酒を飲まないため、私達と違って夜はちゃんと寝ています）。Nさんは夜中に2回アタリがあり、70台・80台を上げたそうです。とりあえず繋いでおいた鯉を見てしばし雑談、皆さんから「おめでとう」の言葉を頂きました。その後山羊さん・H野さんがやって来て雑談していると、「プー」私のセンサーが！！手前に走ったり大暴れ

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

しましたが、サイズは60台後半でした。

しばらくするとH野さんにTELがあり「H野さん、あたってよ」の言葉に猛ダッシュ！！強い引きと重量感で期待して上げてみると、なんと92cm♪（H野さんおめでとうございます）。



今年好調なH野さんは、すでに2本目の90台にニコニコ。すると少し離れた場所で竿を出していた平石がやりとりして、Nさんがタモ入れしている様子。

サイズは80台後半だったそうです。その後平石が70台を追加した後、Nさんは用事があり帰宅されました（お疲れ様でした）。しばらくH野さんの所でみんなで遊んでいると（←みんな落ち着きがないんです：笑）、突然私のセンサーが！！急いで車で駆けつけると、近くでウキ釣りをしていた人が2人いました。すると「突然ドラグがギーギー言い出したが、誰も帰って来ないから来てみるとスイッチが入らずにクリップだけが外れてたんだよ。スイッチ入れれば帰って来る

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

だろうと思って入れてみたんだ」の言葉にビックリ！どうやら一気に走り出したようでクリップだけが外れてしまったようです、たまたまセンサーの事をよく知っている方だったので助かりました。もう少し走られていたら何本かの杭があったので危なかったです、お礼を言うと釣り場に戻られました。

さて鯉の方は、引きはたいした事無いがなかなかの重量感。慎重に寄せて上げてみると、たまたまビックリの92cm♪う～ん半年ぶりに霞に来て、90台2本なんて嬉しい～♪昼食後しばし仮眠・・・



その後アタリは無く、pm1:00に山羊さん・H野さんが帰宅されました（お疲れ様でした）。続いてpm3:00に私達2人も帰宅しました。今回ご一緒した皆さん、お疲れ様でした。また一緒に竿を並べましょうね。

北浦釣行 2002.10.28～30 地鶏オヤジ

出張の予定が3日延び、急に休みが取れたので北浦に行くことにした。場所はここ数日冷え込みが厳しくなっているため、鹿行大橋より上流の深場と考えていた。昨年秋田さん平石さんと竿を出したカーブを目指した。

目的地には午後6時頃到着し場所も空いていたが、裏の水路を工事しているのか、重機が置いてあり土を掘った形跡がある。「昼間はうるさそう！」竿を出すのをためらい、暫くそのまま走り付近の様子を見て回った。

先の水門に竿を出している人に「最近の状況は如何ですか？」と声を掛けると「この先で今日メーターが出たよ」と帰ってきた。地元のお爺さんが釣った様で、俄然やる気が出てきた。しかし、どこで竿を出すか悩んだ、声を掛けた山形のIさんもカーブのところに竿を出していたが、裏の工事がうるさく、水門側が空いたので逃げてきたとのこと、やはりカーブのところは駄目みたいだ。悩んでも時間だけが過ぎて行くので、来る途中にあった水門に竿出すことにし戻った。ここは一度も竿を出したことはないが、初めての場所で釣れないジnkスは私は無いので水門を挟んで両サイドに竿を出した。

夜中午前2時にセンサーが入り水門右の竿があたって60台が釣れた。最近ぼうずはないが、取りあえず釣れて一安心。

午前中あたり無く午後3時に水門左側の竿があたって70台、太陽

が正面で水面に 反射して魚がどっちに行っているのか全く分からない状態。

夕食を取りながら、ある物を餌にしてみようと考え3つ餌として残した。早速1本の竿に セットして就寝、午前3時半センサーが入り見ると夕食の一部を残した餌の竿！ 70台が釣れた。以前に地元の川で同じ餌で挑戦してみたがその時はあたらなかったが 北浦で釣れたので嬉しかった。（単なる偶然かもしれませんが、また挑戦して釣れたら紹介します）

その後午前4時に水門左の竿が当たって60台、午前5時にもセンサーが入り今度は 水門右の竿、魚とのやり取りの途中で何度も道糸が何かに擦れる感触があり、ひやひやししながら寄せた、隣の竿の道糸に絡み、また、誰かの切れた道糸と 竹杭が絡んだ状態で何とかタモ入れ成功。 まあまあ型の型だったので、検量台を準備して検量してみると、90台は十分にあったので ライブバックに入れてキープした。

昼間は土手の草刈作業が入り竿掛けを退けるように依頼があったため、竿を土手の竿掛けから 直接コンクリートに置く事にした、しかし、この状態でもしあたらたら竿ごと持って行かれると 思い、竿を尻手ロープで結ぶことにした。草刈の作業は終了したが、竿掛けは既に仕舞っていたので そのままコンクリートのところに置いたままあたりを待った。北浦では良く午後2時半頃あたりがあるので注意していたら、午後2時45分に水門左の竿が当たって 勢い良く道糸が出て行く、竿

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

は動くことなく大丈夫のようだ、しかし、尻手ロープがほどけなくその間も 道糸はジージー出っ放し！焦れば焦る程指が思うように動かずやっとロープをほどいて竿を立てると 痛恨のすっぽ抜け。

午後 3 時 40 分まで粘るもその後あたりが無いので渋々納竿することにした。ライブバックにキープした魚の検量と写真撮影をお願いする為、山形から遠征で来られている I さんを尋ねることにした。I さんは快く引き受けて頂き、検量結果は 93cm。 (山形の I さんありがとうございました。)



北浦釣行記 2002.10.8～11 地鶏オヤジ

遅い夏休みがやっと来た！ 昨年は三方五湖へ遠征したが、今年は霞・北浦と決めていた。しかし、霞にするか北浦にするか最後まで悩んだ、今年とても相性の良い北浦のポイントにするか、毎年必ず行っているのに今年まだ一度も行っていない霞のドック。釣りの準備も終わりいざ車を走らせ水郷方面に向かってもまだ決まらない、車を走らせながらあれこれ悩む。北浦のポイントは有名になったのと大会が近いのできつと先客が居る？ 霞のドックは浮き釣りが出来て面白い等々。。。。。

霞方面と北浦方面に行く分かれ道となる交差点の信号が近づいた時、正面の信号は”青”

「よし北浦だ！」左折するのが面倒だったので直進して北浦に向かうことにした。

目的のポイントに近づくと水門の所は空いていたが、自分が目指したポイントには先客がいた。とりあえず先客の所で車を止めて話を聞くことにした。先客は初対面でも見たことのある有名なKさん。Kさんは日曜から竿を出していて間もなく帰るとのこと、状況はあまり良くなく 80 台 1 本と 70 台が 1 本とのこと、状況が悪くてもここで竿が出せればと喜んで竿を出すことにした。竿を出し終える頃には周りも暗くなり、雨も強くなってきた、その日は朝までアタリなし。

9日の朝 10時に3番の竿に待望のアタリ有り、しかし、残念ながら

竿を持つとすっぽ抜けた。15時に6番の竿があたって60台が釣れた。昨年と同じような時期にこの場所でタニシえさで60台の入れ食いを経験している、まさか今年も？そんな心配をよそにそのまま夜までアタリなし。

10日午前1時45分にセンサーが鳴り飛び起きた。車から出て右の竿に向かって走ったが、一瞬どの竿があたっているのか分らなかった。あたっているのは3番の竿で、車の左側の竿だった。3番の竿に近くと余り勢いは良くないが道糸が時々出ている。竿を持つとしっかりとした重量が伝わってくる。慎重に寄せてヘッドライトで魚を確認すると「デカイ！」と思わず声が出てしまった。一発でタモに入れ片手に竿を持ち、片手でタモを上げようとすも持ち上がらない、今までにこの様な経験はない。焦りながらもやっとの思いで護岸まで魚を引きずり上げたが、裏の土手までとても片手で運べない。シートも敷いてないコンクリートに一時的に置いて針を外し、両手でタモを持って運ぼうとしたが魚が暴れて傷だらけ。もう駄目だと渾身の力を出し裏の土手まで運び、とりあえず長さを計りライブバックに入れてキープした。

午前6時に再び3番の竿があたってやり取りを見ていた隣のSさんがタモいれしてくれた。(70台)

ライブバックに入れた魚の傷が気になり出来るだけ早くリリースしたかったので、駆けつけてくれたTさんと、隣のSさんとで午前中に

検量した。ライブバックから出す時も大暴れし、鱗が飛び散り 尾鰭が切れた。それに昨晚コンクリートで暴れてできた顔の傷が痛々しい。検量の結果 96 cm、18.5 Kg。尾鰭の小さい北浦独特のデブ鯉。



日中アタリなく、隣のSさんは風呂に入りに出かけるとのこと。竿の番を頼まれ、時々Sさんの 竿を双眼鏡で確認するも変化なし。暫くするとSさんの車が戻ってきて、車から降りたSさんが いきなり竿をもってやり取りを始めたので近づいて行くと「リールの糸が全部出ている、魚はまだ付いている」とのこと、しかし、根掛かりしている様である程度寄ったところで止まってしまった。一旦糸を緩め様子をうかがっていると根掛かりが外れ魚が動き出した。再びやり取りに入り慎重に寄せて無事タモに納めた。スケールで大体の長さを測ると90

cm。

日中、私はアタリなし。夕食を済ませ、午後 8 時頃裏の土手で用を足しているとセンサーが鳴り、焦って戻り竿を持った。結構良い引きで型もまあまあと思ったが、上がってきた魚を検量すると 83 CM。即りリリースした。午後 10 時にセンサーが入ったがクリップは外れていたものの魚は付いていない空アタリ。その後 朝までアタリなし。

11 日は用事があるため午前 7 時に納竿。明日からは実家に帰省する予定である。実家の直ぐ下には川が流れていて、子供の頃によく釣りをした場所だ。今回は使用しなくなったロッドやリールを持って帰り実家に置いておき、ちよくちよく釣りしようと考えている。

北浦釣行記 2002.7.20～22 地鶏オヤジ

急に休みが取れたので北浦で竿を出すことにした。久し振りの釣行に胸が膨らむ？（D カップ位？）途中でタニシを採りながら向かったのでポイントに着いたのが午後 7 時になってしまった。

釣り人はまばらであったが、目標地点付近は鯉師が竿を林立（正確には竿はほぼ水平の状態）させていて、今年の春 mioさんと良い思いをしたポイントはさすがに空いていなかった。仕方なく水門の所が空いていたのでそこに竿を出すことにした。

日が暮れて風が吹くと昼間の暑さが嘘の様に涼しく気持ちいい！やはり夏は夜釣りに限る。その日の夜はアタリもなく、涼しい車内で朝まで熟睡。朝目が覚め餌の打ち替えをし、裏の水路でウナギとナマズのえさの小魚採りをする。（ウナギは昨年 5 月に霞ヶ浦で釣ったもので、ナマズは今年の 5 月に地元の川で釣った日本ナマズ）何れにしてもこの 2 匹食欲旺盛でえさの確保が大変。

日が昇ると途端に気温が上昇し、居ても立っても居られない位暑い！10 時位にもう帰ろうかと考えるくらい暑い。何とか冷却水（朝からビール）を補充してその場を凌ごうと空き缶の山を作る。

日曜の午後、猛暑も手伝って、午後の 3 時にはさすがに鯉師の姿は消え、目的のポイントも空いたので場所を移した。5 月に良い思いをした場所なのでポイントは大体分る。

早めの夕食を取り、うとうとしていると午後 8 時頃センサーが鳴っ

て飛び起きる。5番の竿が当たっていて勢い良くリールから糸が出ている。ヘッドライトをかぶり、タモを持って竿まで走る。竿を持ってやり取りの体勢に入るもまだリールから糸が勢い良く出ている、リールのスプールを親指で押さえた瞬間、親指に痛みが走り火傷してしまった。結構良い型であることを確信し慎重にやり取りするも先ほど火傷した親指が痛い！近くまで寄せてもう大丈夫と油断して火傷の親指をライトで照らして見ている時、針が外れ錘が自分の所に飛んできた。ヤラレタ！こんな大事な時によそ見するか？自分が情けなくなる。気を取り直してえさを打ち直す。

先ほどのバラシと親指の火傷が痛くて中々寝れない、寝れないまま時間が過ぎ、10時30分に再びセンサーが鳴る。車から出ると先ほどと同じ5番の竿がアタッている、竿を取るとこれもいい引き。慎重にやり取りしてタモに納め、裏の土手まで運んで検量すると94cm納得のサイズライブバックに入れてキープした。

その後はアタリは無く就寝し、朝4時のセンサーで目が覚めた、今度は杭に一番近い1番の竿で、魚も杭に向かっている。何とか杭から離れるように引っ張るも道糸が杭を回った感触が伝わって来たのでリールをフリーにして様子をうかがうと魚は杭とは逆の方向に動きだしたので再度やり取り開始し、何とか寄せてタモに納め検量すると88cm。

その後も何度かアタリがあり60cm台や、すっぽ抜けで等で午前7時頃にはアタリも無くなり、昼に納竿。

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

久し振りの釣行で 90 台！うれしいですがバラシタ魚が気になる。
親指には枝豆くらいの火ぶくれが・・・あー痛い！



北浦釣行記 2002.7.6～7 山羊

7月6日午前2時17分宇都宮を出発。いちばん車が少なそうなこんな時間に出発、一路北浦へ。4時30分到着。前日から来ているのか水門すべてに竿がならんでいた。空いていたのは吐き出しと、ドックのみ。風向きを考え吐き出しに竿をセット。午後4時30分H野が到着するまで、何事も起きませんでした。

午後になってなぜか人がいなくなっているのに気が付いた。水門1つ以外は全員移動か、帰ってしまったらしい。みんなアタリがなかったのだろうか？H野は水門が空いたのでそこにセット。ちょっと離れてしまったので、夜のこと（宴会）を考え隣に移動。5時20分からのザ・フィッシングを見る為に急いで準備。テレビで「50時間で待望のアタリ...」なんて言っていたのですこし安心。もう12時間アタリなしなので。テレビがおわり、いよいよ買出しに出発。しばらく走り結局街なかのストアへ入ってしまいました。こうなると大変。さしみ、おしんこ、カルパッチョ、コロッケ、フライ、その他惣菜にビールを買って戻りました。いつものことですが何しに来てるんでしょうか。でもホタテクリームコロッケがおいしかったです。

そして宴も終わり、期待して就寝。台風のせいでしょうか暴風が吹き荒れ車が揺れ、何度も夜中に目をさまし一度もセンサーは鳴らずに朝になりました。すると今度は強烈な陽射し。こりゃだめかと思った9時30分私の竿がお辞儀をしていた。チャリンコで散歩をしている

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

時にそれを発見。急いで竿を持つが、糸が巻けない。なんとスピニングの 12800 円の竿に 6800 円のリールという組合せにヒットしてしまったのです。やっとの思いで H 野にすくってもらおうと、95センチありましたよ。今年一匹目の魚がこれでした。ようやくこれで一匹釣れてよかったです。7月に初鯉ですからちょっと遅すぎるけど、いい七夕になりました。後にも先にも二人でこの一発だけでした。渋い。



GW 釣行記 2002.4.30～5.2 mi○

4月30日7時40分、車を走らせる。今回目指すは北浦。昨年の秋はメーター級連発のポイントだったが、果たしてこの時期はどんなものだろう？ 私にとっては初めてのポイントだが、ポイントに詳しい地鶏オヤジさんと一緒なのが心強い。

宇都宮からおおよそ110キロのドライブ。普段なら遠く感じる距離だが、水郷に向かうとなると全く苦にならないのが不思議だ。途中で地鶏オヤジさんから連絡が入る。10時に現地到着のつもりでいたが、お互い少し遅れそうである。時間にルーズになれるのもまた善し。

目的地よりだいぶ手前から湖岸線に出てみる。ゴールデンウィーク中だというのに、この辺一带に鯉師が見当たらない。目的地の突端に地鶏オヤジさんのホームーが見える。あまりのがら空き状態に少し拍子抜けした感じがする。

挨拶もそこそこに、二人とも竿出し開始。湖に向かって左に地鶏オヤジさん、右に私が入る。Y岸さんのすぐ左には杭が沢山入っている。昨年107cmの出たポイントだとY岸さんが教えてくれた。最近わかってきたことだが、一般に鯉師はポイント選びの際に好きな障害物に寄って行く習性があるらしい。ぼらひでさんならカーブ、秋田さんなら水門、地鶏オヤジさんは杭。

お昼前に餌打ち終了。午後4時30分、待望のアタリが私のダンゴに来た。引きが弱い。ニゴイか？ タモを使わず上げようとしたが、地鶏オヤジさんが竿を痛めるとイケナイとのことで、すくってくれた。

「一応ヒゲがあるよー」と地鶏オヤジさん。釣るのが申し訳ないくらい
の 37cm だった。この後アタリもなく夜を迎える。地鶏オヤジさん
の愛車に押しかけ、あったかいおでんをご馳走になりながらプロ野球
を観戦させてもらった。自宅では子供と家内にチャンネルを占領され
てしまう毎日。ここに来るとこんな楽しみもあることを再発見。プロ
野球も終わり、自分の車に戻って就寝。夜はアタリもなく、朝を迎え
る。地鶏オヤジさんもアタリはなかったようだ。

1日午前9時ころ、センサーON。またしても吸込みにヒットしたが、
50cm くらいの小鯉。いやな予感がしつつ昼食の時間になった。地鶏
オヤジさんに受信機をわたしてコンビニに弁当を買いに行く。ポイン
トに戻る途中、宇都宮の釣友 BB さんから「どうだい？釣れてる？」
と電話。「ぜーんぜんダメ」「あ、そう・・・じゃ、頑張っ！」「は
い、どーもー」

ポイントに戻り受信機を受け取ったあと、地鶏オヤジさんはお昼寝
タイム。弁当を食べ終わったあと車でくつろいでいると、いつもより
早めに昼寝から目覚めた地鶏オヤジさん。

「コンビニに行ってくるから受信機宜しく！」

1時30分頃、車で休憩中に地鶏オヤジさんの受信機が！6番竿のリー
ルから少し糸が出ている。通り掛かりのオジサンも見に来る。一瞬迷
ったが、あまり大きそうな引きでもないので竿を持って合わせてみる。
あれっ、5、60くらいの手応え。左手に竿を持って山岸さんに電話。

「当たってますよー。あまり手応えありませんけど、どうしますー？」

「ここから戻っても時間かかるから、上げといてくださーい」

「わかりましたーっ」

電話の後、リールをまき始める。

「アブのリールもなかなかいい感触だな...」

などと思う余裕もあったりしながら、次第に鯉を浮かせる。簡単に手前に寄せたころ、オジサンがタモをもって下りてきた。最後に浮かせて口を水面から出そうとした時、初めて手応えらしきものを感じた。浮いてきた鯉の頭を見ると「でかい！」思わず、さっきの電話でウソを伝えてしまったことが脳裏をよぎる。ここまできたらもう上げるしかない。オジサンにすくってもらってタモをうけとり、水から鯉を片手で上げようとしたとき、かなりの重量を感じる。

「な、なんだこの重さは...」

上がった鯉を見ると、あの北浦特有のデブゴイ！大きさは90cmはありそう。とりあえず自分のライブバックに鯉をいれ、後の水路に繋いで地鶏オヤジさんの帰りをまった。

地鶏オヤジさんが到着後、二人で検量した結果は91cmの15キロ。「これはしょうがないよ・・・」と地鶏オヤジさん。でもなんかすっきりしない・・・。気をとりなおしてタニシを打ち直し、再びアタリを待つ。



3時頃、地鶏オヤジさんにアタリ。さっきの隣の竿がギー。飼育しているウナギのエサの小魚をとっていた地鶏オヤジさん、急いで駆け寄り今度は自分で竿を持つ。なかなかの重量のようだ。タモを持って私も見守る。時折激しく糸を引き出しつつ、左右に逃げ回る鯉を見事な竿さばきで引き寄せる地鶏オヤジさん。浮いてきた鯉はさっきとは負けず劣らずの立派な鯉。

無事にとりこんで検量したところ、90.5センチ。90台の連発だ。こんな時は、次にもっとでかいのが来る可能性がある。一瞬、メーターの期待が。



その後夕方2本、私のダンゴに小ゴイがかかり、いずれも地鶏オヤジさんはいやな顔もせずにくっつけてくれた。一方の地鶏オヤジさんのほうは、アタリはパツタリとまっている。

今日も地鶏オヤジさんの愛車で一緒に夕食をとらせてもらう。味付けタコをわさび醤油で食べると、普段の数倍美味しく感じられるのはなぜだろう？電子レンジで暖めたイカリングも絶品。その他、太巻き、カイワレ・ハムサラダ、おでんなどなど、とても釣りに来ているとは思えない豪華メニュー。

すっかりお腹も膨れ、今日は早めに自分の車に戻る。1時間くらいウトウトしたのだろうか、車の窓をコツコツと叩く音。いそいでドアを

Monster Carp Fishing in Japan - Diary

あけると、「今また釣れましたよー」と地鶏オヤジさん。駆け寄ると、これもまたでかい。さっきの2本よりでかい！！検量の結果95cm。地鶏オヤジさんの自己新には届かなかったものの、立派なモンスターだ。



本日の3連発で少し興奮のためか、眠気が吹き飛んでしまった。車の外でコーヒーを沸かし、しばらく湖面を眺めて時間を過ごし、その後車にもぐりこんだ。シュラフのなかで足元が次第に温かさを帯び、再び深い眠りに入る。

その夜もセンサーは鳴ることなく最終日の朝を迎えた。昼までに2本、私のダンゴにヒットしたが、またまた小ゴイである。

昼寝から起きた地鶏オヤジさんは竿を仕舞って2時45分頃帰宅。途中でタニシをとりながら帰るとのこと。一方私は4時まで粘っては見たものの、一向にあたりはなくあきらめて納竿。

帰路についてふと気がつく、妙に顔がぴりぴりしている。そういえば、春の紫外線は意外に強いらしい。心地よい疲れを感じながら宇都宮をめざした。

